

14  
36

明治三十一年  
岡山縣勸業諮問會日誌

041696-001-1

14. 14-36

岡山縣勸業諮問會日誌

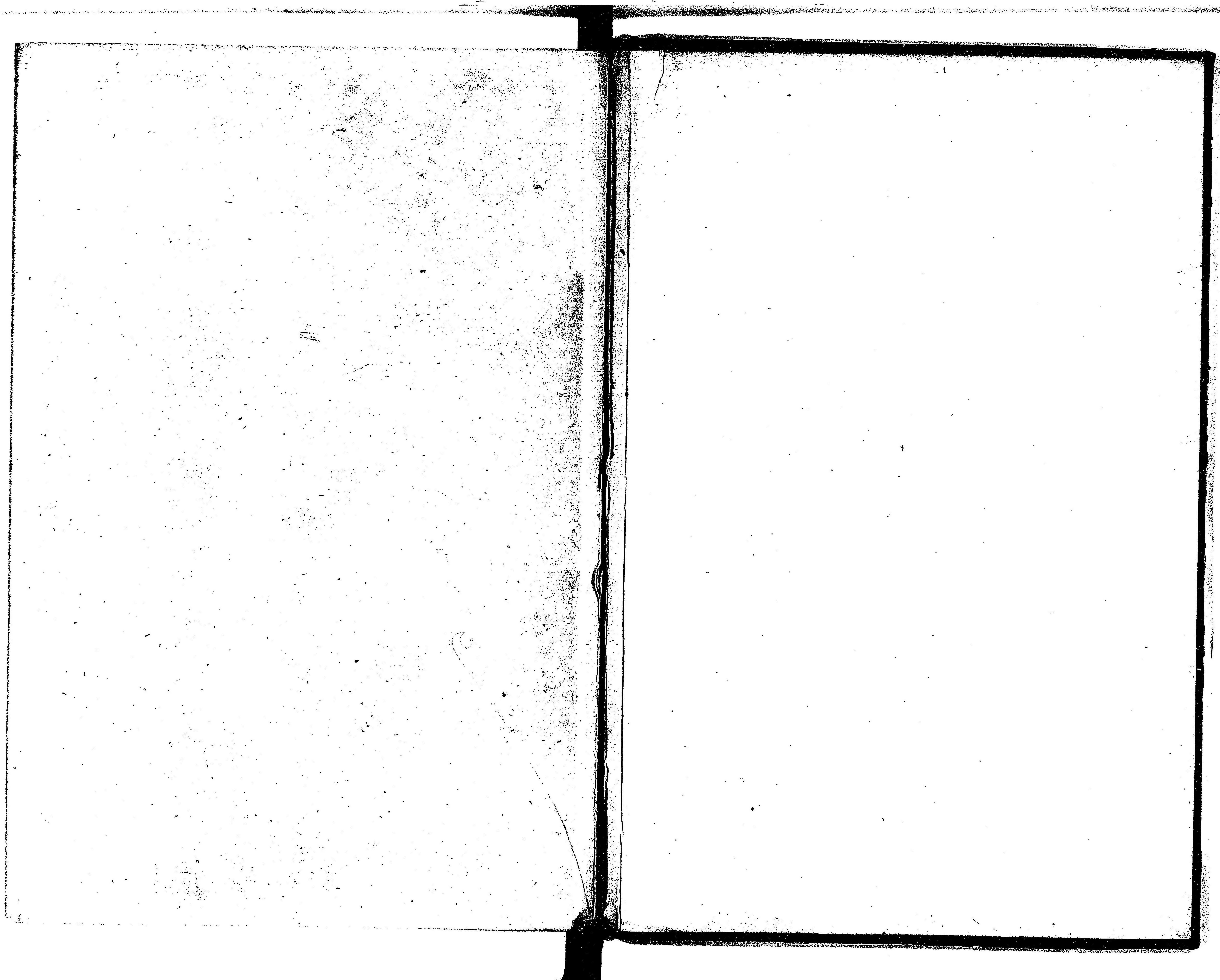
明治30, 31年

岡山縣

M31

BDI-0199





岡山縣勸業諮問會日誌

明治三十年九月二十四日ヨリ全三十日迄岡山縣勸業諮問會ヲ後樂園鶴鳴館ニ開ク會頭以下

氏名及諮問案左ノ如シ

141-36



會 頭

岡山縣知事 高崎親章

理 事

岡山縣屬 村上長造

岡山縣屬 小野靜雄

説明委員

岡山縣書記官 李家隆介

岡山縣技師 鈴木馨

岡山縣屬 富永馬吉

岡山縣屬 村上長造



二 岸歌治

書記

岡山縣屬 小野靜雄  
岡山縣屬 太田策二

會員

一 番  
二 番  
三 番  
四 番  
五 番  
六 番  
七 番  
八 番

津高郡江與味村 石井策太郎  
彙北條郡大井東村 田邊崇平  
岡山市船頭町 岩堂保平  
兒島郡藤戶村 星島謹一郎  
西北條郡西苔田村 畑信好  
窪屋郡倉敷町 木山精一  
岡山市花畑 山崎樵夫  
赤坂郡高月村 水谷隆德

九 番

川上郡高倉村 東三省

十 番

勝南郡北和氣村 矢吹正卿

十一 番

東南條郡津山東町 梶村平五郎

十二 番

賀陽郡福谷村 荒木隆治

十三 番

小田郡吉田村 石田武平太

十四 番

和氣郡日笠村 櫻井彌壽二

十五 番

吉野郡大原村 高畑漁平

十六 番

真島郡瀨田河村 岡田穰

十七 番

後月郡山野上村 三村政太郎

十八 番

勝北郡勝加茂村 甲田完之

十九 番

下道郡箭田村 妹尾專太郎

二十 番

小田郡三谷村 赤松健太

二十一 番

御野郡今村 龜山猪之助

二十二番  
二十三番  
二十四番  
二十五番  
二十六番  
二十七番  
二十八番  
二十九番  
三十番  
三十一番  
三十二番  
三十三番  
三十四番

和氣郡片上村 野吹秀太郎  
淺口郡長尾村 田邊禎夫  
窪屋郡倉敷町 林醇平  
上道郡高島村 大森馬之  
川上郡平川村 平川廣三郎  
久米南條郡龍川村 梶谷武  
阿賀郡皆部村 莊寬一郡  
眞島郡月田村 佐野篤太郎  
後月郡西江原村 相田嘉三郎  
西々條郡芳野村 河田繁穗  
大庭郡河陽村 高田信一郎  
磐梨郡可眞村 大石廉  
兒島郡粒江村 大塚香

三十五番  
三十六番  
三十七番  
三十八番  
三十九番  
四十番  
四十一番  
四十二番  
四十三番  
四十四番  
四十五番  
四十六番  
四十七番

英田郡檜原村 黒田彌平  
邑久郡邑久村 岡繁藏  
上房郡松山村 柳井重宣  
小田郡稻倉村 妹尾伍平  
賀陽郡足守町 吉田臺之助  
兒島郡鴻村 渾大防益三郎  
阿賀郡刑部村 戸田江三郎  
邑久郡牛窓町 香川眞一  
上道郡光政村 秋山宗三郎  
淺口郡柏崎村 井手杏平  
哲多郡野馳村 名和彌三郎  
津高郡平津村 兒島譚二郎  
都宇郡加茂村 片山光右衛門

四十八番  
四十九番

東北條郡加茂村  
福原嘉之  
淺口郡玉島村  
柚木梶雄

岡山縣勸業諮問會問題

一花莖業ノ衰頹挽回ノ方策如何

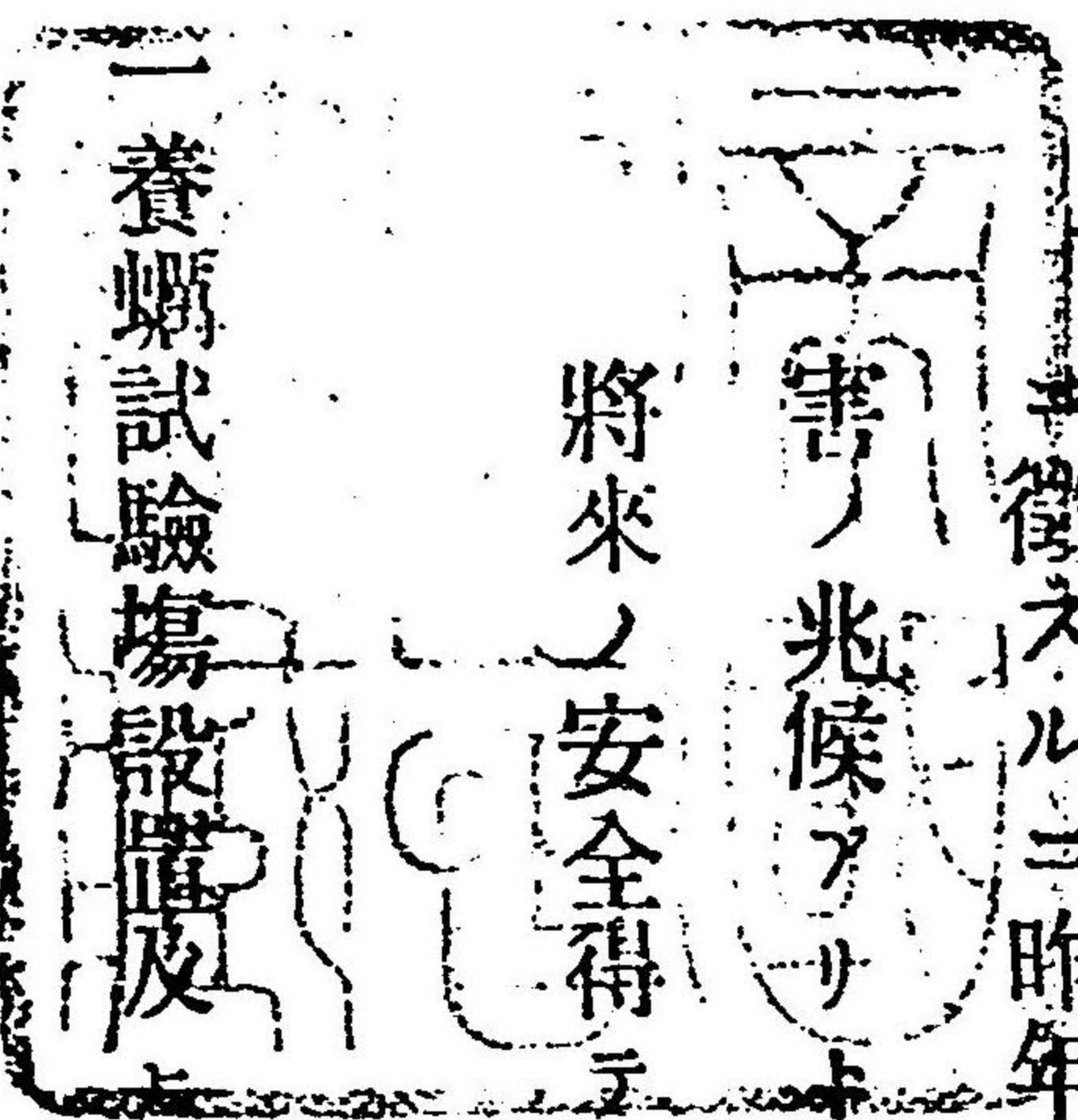
說明

蘭草ハ本縣下特有ノ物産ニシテ品質頗ル優等ナリ故テ以テ疊表ニ於テ夙ニ之カ名聲ヲ博セリ往年花莖ノ一タヒ海外輸出ノ途ニ上リシ以來其業ニ就クモノ陸續增加明治二十八年ニ在テハ其機數九千八十五臺製産額貳百貳十七萬圓余ノ巨額ニ達セリ然ルニ昨二十九年ニ在テハ爾來漸ク不振ノ狀況ヲ呈シ其製産僅ニ百三萬八千圓余ニシテ運轉機數五千三百四十四臺ニ減少シ延ヒテ本年米國關稅條例ノ發布ニ遭遇シ頓ニ其販路閉塞營業者ハ殆ント其業ヲ休止スルノ狀況ニ至レリ若シ夫レ如此ニシテ久シキニ涉ラン乎縣下經濟上ニ影響スル所蓋シ鮮少ナリト爲サ、ルナリ此衰況挽回ノ方策如何

一螟蟲發生ノ狀況及其驅除方法如何

說明

近來螟蟲ノ發生漸ク多ク其被害ノ區域倍々増大ナラントセリ已ニ昨年ノ如キ其被害鮮少ナラス收穫ノ減耗實ニ蟲害ニ由レルモノ多シ本年苗代ニ於ケル燈火誘殺ノ狀況ニ徴スルニ昨年ニ比シ寧ロ發生ノ多カラントテ虞レリ各地ノ狀況如何若シ發生被害ノ兆候アリトセハ秋季收穫ノ期節ニ於テ根本的剷滅ノ方法ヲ講スルニアラスンハ將來ノ安全得テ期スヘカラサルカ如シ其驅除ノ適法如何



說明

縣下ニ於テ養蠶場ヲ設クルハ兒島灣内ニ限り都宇郡妹尾町及ヒ兒島郡秀天村漁民ノ專業ニ屬シ其收入尠シトナサ、ルナリ然レモ此地ノ種苗採集方法ハ獨リ灣内ニ適スルノミニテ廣ク之ヲ他ニ施スコトヲ得サルナリ縣下沿海中養蠶ノ適地甚々多シトス

故ニ廣島縣下ニ於テ行ハル、所ノ方法ニ依リ和氣郡片上灣小田郡西濱灣ノ二ヶ所ニ於テ各壹反步ツ、ノ海面ヲ區劃シ養蠟試驗場ヲ設置セントス、  
鱈魚ハ從來瀬戸内海ニ多ク往々他ノ漁業ノ妨害ヲ爲セリト雖モ漁民其漁獲法ニ慣熟セサルヲ以テ常ニ困難ヲ訴フルニ過キス然ルニ大分山口兩縣下ノ如キ從來專業トシテ鱈魚ヲ漁獲シ其收利亦尠シトセサル所ナリ依テ教師ヲ聘備シ沿海漁民ヲシテ漁獲法ヲ傳習セシメ他ノ漁業ノ安全ヲ圖リ併セテ收益ヲ得セシメントス

一種牡牛ニ檢印烙記ノ可否如何

說 明

種牡牛ニ檢査証ヲ附與スルト同時ニ体中最モ認識シ易キ部分ニ烙印スルノ取締上必要ナルハ言ヲ竣タスト雖モ取締規則發布ノ當時ハ事創始ニ屬シ殊ニ縣下ニ於ケル耕用種牛ノ過半ハ其使用概テ一年ヲ出テスシテ他ニ賣却スルノ習慣アリ之レカ爲メ烙痕ヲ嫌忌シ延ヒテ自由交尾ヲ助長スルノ弊アルヲ恐レ姑ラク之ヲ後年ニ期セシニ外

ナラス今ヤ規則實施以來既ニ二尾霜ヲ閱シ種牛ノ數日ヲ逐テ増加スルニ隨ヒ取締上一層ノ必要ヲ感セリ且民間ノ情況亦往年ト同シカラサルモノアリ仍テ明年ヨリ檢印ヲ烙記セントス其利害及檢印烙記ノ位置ハ何レヲ最モ適當トスヘキ乎

一種牡牛定期檢査ニ委員ヲ撰任シ檢査ヲ執行セシムルノ可否

說 明

種牡牛馬ノ檢査ハ明治廿九年三月縣令第二十九號種牡牛馬取締規則ニ依リ之ヲ行ヒ種用タルノ適否ヲ檢定シ且其優等ノモノヲ撰拔シ規則第四條ニ依リ賞金ヲ下付シ以テ畜産事業ノ發達改善ヲ圖レリ然ルニ本年三月法律第十二號ヲ以テ種牡馬檢査法ヲ公布セラレ其檢査委員ハ府縣官吏獸醫又ハ産馬業ニ經驗アルモノ、中ヨリ任命スヘキコトニナレリ種牡牛檢査モ亦其組織ニ準シ當該官吏ノ外獸醫若クハ畜産業ニ經驗アル者二名ヲ撰任シ其費用ハ地方稅ニ要求シ以テ檢査ノ公正ヲ期セントス其可否如何

一明治三十二年春期管内共進會開設ノ可否

說明

本縣共進會ハ明治廿六年三月之ヲ開設シ其出品種目ハ米綿繭生糸ノ四種ヲ以テセリ爾來已ニ幾星霜ヲ經過シ物産ノ盛衰消長ニ於テモ亦一變ノ觀ナキニアラサルナリ其間内國勸業博覽會關西府縣聯合共進會ノ開設アリ又管内ニ在リテハ一國若クハ數郡聯合等一部局ニ於ケル品評會ノ開催數回ニ及ヘリ今ヤ時機漸ク管内一圓ノ共進會開設ノ必要ヲ感スルカ如シ依テ來明治三十二年春期ニ於テ米麥藍煙草茶生糸繭花苳疊表麥稗眞田紙織物牛ノ十三種ヲ限リ共進會ヲ開設シ以テ殖産興業ノ發達ヲ圖ラントス其時期及品目ノ撰擇如何

參照

一金參千四百圓八拾九錢

共進會費

內

金千八拾七圓九拾九錢

明治三十一年度支出

金貳千參百拾貳圓九拾錢

全三十二年度支出

一明治三十一年度ニ於テ勸業上調査スヘキ種目如何

說明

縣下ニ於ケル重要物産改良上ノ資料ニ供センカ爲メ他府縣下ニ在テ栽培調製ノ優等ナルモノ若クハ改良ノ事蹟顯著ナルモノ等ハ漸次其地方ニ就キ調査ヲ逐ケシメントコトヲ圖リ明治三十年度ニ在テハ山口縣ニ於ケル米製改良法、神奈川福島茨城縣ノ煙草、枋木縣ノ麻、徳嶋縣ノ藍、奈良縣ノ樹苗栽培等ノ調査ヲ爲サシメタリ依テ來三十二年度ニ於テハ左記種目ノ調査ヲ逐ケシメントス其選擇ノ適否如何

畜産

奥羽北海道

蠶糸業

長野縣群馬縣

製紙業

高知縣靜岡縣



一 本年法律第十七號蠶種檢査法及農商務省令第八號蠶種檢査施行細則ニ依リ蠶種檢査施行手續左之通規定セントス

蠶種檢査法施行手續

第一條 蠶種ヲ製造セントスルモノハ第一號書式ニ依リ所轄郡市役所ヲ經由シ縣廳ニ願出鑑札ヲ受クヘシ

第二條 蠶種ヲ製造者身分住所氏名ニ異動ヲ生シ又ハ鑑札ヲ亡失毀損シタルトキハ其事由詳記シ所轄郡市役所ヲ經由シ縣廳ニ届出鑑札ノ書換若クハ再下付ヲ請求スヘシ但シ廢業シタルトキハ本條ノ手續ニ依リ鑑札ヲ返納スヘシ

第三條 明治三十年<sup>六</sup>農商務省令第八號蠶種檢査法施行細則第一條規定ノ届出ハ所轄郡市役所ヲ經由スヘシ

第四條 蠶種製造者前條ノ届出ヲ爲シタル後其事項ニ異動ヲ生シタルトキハ縣廳又ハ蠶種

檢査所ニ届出ヘシ

第五條 框製原種ハ一枚ヲ二十八區ニ劃シ一區ノ圓徑ヲ一寸五分ト爲スヘシ

第六條 蠶種製造者ハ蠶兒四眠ニ就キタルトキハ其蠶兒ノ上簇及繭選別量定ノ月日ヲ豫定

第二號書式ニ依リ所轄檢査所ニ届出ヘシ

第七條 蠶種檢査法施行細則第五條第三號ニ規定シタル母蛾ハ其原種ト共ニ指定シタルシ期限内ニ所轄檢査所ニ差出檢査ヲ受クルモノトス

第八條 學術研究ノ爲メ蠶種ヲ製造セントスル者ハ其製造ノ場所掃立蛾量蠶種枚數蛾數等ヲ詳記シ毎年二月十五日限郡市役所ヲ經由シ縣廳ニ届出承認ヲ受クヘシ

第九條 蠶種製造者蠶種ノ檢査ヲ受ケタルキハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムヘシ

一 原種 一 蛾ニ付金壹厘

二 製糸用種 一枚ニ付金壹錢五厘

第十條 檢査ノ手数料ハ所轄郡市長ヨリ發シタル納入告知書ニ現金ヲ添ヘ縣金庫ニ拂込ミ其領收証ヲ受クヘシ

第十一條 蠶種検査所ノ位置及管轄區域左ノ如シ但検査所ノ開始及閉鎖ハ之ヲ告示スヘシ

名稱	位置	管轄區域
輕部蠶種検査所	赤坂磐梨郡役所内	赤坂磐梨和氣 邑久 上道郡
高松蠶種検査所	賀陽郡役所内	岡山市 御野津高兒島都宇窪屋賀陽郡
笠岡蠶種検査所	小田郡役所内	淺口 小田 後月 下道郡
高梁蠶種検査所	上房川上郡役所内	上房川上 阿賀 哲多郡
勝山蠶種検査所	眞島大庭郡役所内	眞島 大庭郡
弓削蠶種検査所	糸北條糸南條郡役所内	糸北條 糸南條郡
津山蠶種検査所	西々條外三郡役所内	西々條 西北條 東南條 東北條郡
勝間田蠶種検査所	勝北勝南郡役所内	勝南 勝北郡
英田蠶種検査所	吉野英田郡役所内	吉野 英田郡

第十二條 本手續第一條第二條第四條第六條第七條ニ違背シタルモノハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

(第一號)

蠶種製造鑑札御下付願

住所

氏名

一原種 (製糸用種)

右蠶種肩書ノ場所(又ハ何郡何町村大字何番邸)ニ於テ製造仕度候間鑑札御下付相成度此段相願候也

年月日

右氏名印

右村長氏名印

岡山縣知事宛

(第二號)

上簇及繭選別豫定屆

蠶種製造人

何郡何町村大字何番邸

何 誰

一蠶兒上簇 何月何日

一繭選別量定 何月何日

(蠶種掃立日時ヲ異ニシタルモノハ各種四眼ニ就キタルニ毎屆出チ爲スヘキモノトス)

右及御屆候也

年 月 日

右何 誰印

蠶種検査所御中

一町村若クハ一大字ノ共有山林原野ニ苗木新植又ハ天然生ノ稚樹ヲ養成シタルモノニ獎勵  
金下附ノ事

說明 共有地山林ノ年ヲ追ヒ荒廢ニ傾クハ方今ノ通患ニシテ之カ匡救ノ策ヲ講スルハ  
刻下ノ急務タリ特ニ本縣ノ如キハ治水井ニ殖産上ニ一日モ忽視ニ附スヘカラサルヲ  
認メ殖樹獎勵金下附規則ヲ制定スル所以ナリ

附記

殖樹獎勵下附金豫算

一金千圓 明治三十一年度殖樹獎勵下附金豫定額

内 譯

金五百圓 但天然生ノ分五百町步壹町步ニ付金壹圓

金五百圓 但人工植栽ノ分百町步壹町步ニ付金五圓

殖樹獎勵金下付規則

第一條 町村若クハ大字ノ共有山林原野ニ苗木ヲ栽培シ又ハ天然生ノ稚樹ヲ養成シ其成績顯著ナルモノニハ本則ニ據リ殖樹獎勵金ヲ下付スヘシ

第二條 殖樹獎勵金ハ左記ノ區別ニ依リ之ヲ下付スヘシ

- 一 人工ノ苗木ヲ栽培シタルモノ 一町歩ニ付十圓以内
- 一 天然生ノ稚樹養成シタルモノ 全 壹圓以内

第三條 殖樹獎勵金ヲ下付スヘキ樹種ハ杉、扁柏、松、檫、檜、榲、栗ニシテ其他ノ樹種ハ豫シメ縣廳ノ認可ヲ受クヘキモノトス

第四條 殖樹獎勵金ノ下付ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ管理者ヨリ所轄郡役所ヲ

經由シ縣廳ニ申請スヘシ

- 一 所在地名、地番、反別、所有名
- 一 施業地ノ區域圖
- 一 共有者ノ決議要領

一 施業方法

但栽培又ハ養成反別、樹種本數等ヲ詳記シ其繼年ニ係ルモノハ年度ヲ區別スヘシ

- 一 伐木年限
- 一 保護監督ノ方法

第五條 郡役所ニ於テ殖樹獎勵金ノ下付願ヲ受理シタルキハ願面ト事實トノ適否ヲ調査シ意見ヲ付シテ縣廳ニ進達スヘシ

第六條 縣廳ニ於テ前條ノ願書ヲ受理シタルキハ更ニ吏員ヲ派遣シ成績ヲ實查シテ下付ノ金額ヲ決定スヘシ若シ不適當ト認ムルキハ施業方法ノ變更ヲ命シ又ハ許可セサルコトアルヘシ

第七條 共有地管理者ニシテ殖樹獎勵金ヲ受ケタルキハ左ノ書式ニ據リ直ニ請書差出スヘシ

書 式

印紙

請 書

拙者管理ニ係ル何町村(大字何)所有郡町村大字字地番地目反別(一筆中幾分ニ係ルモノハ全反別及施業反別ヲ併記スヘシ)

月 日(何樹新植又ハ何樹ノ天然生ヲ養成)候處今般獎勵トシテ金何圓御下付相成正ニ領收致候就テハ明治 年

號殖樹獎勵金下付規則ヲ遵守スルハ勿論今后倍々奮テ増殖保護ニ從事スヘク万一御規則ニ違反シ下付金返納方御命令相成候共何等ノ異議申立間敷候仍テ共有者ノ決議ヲ經請書差出置候也

明治 年 月 日

郡町村(大字何)共有地管理者

何町村長 何 ノ 誰印

縣知事宛

第八條 殖樹獎勵金ヲ受ケタル森林ニシテ苗木又ハ稚樹ノ枯死シタル場合ニハ三年以内ニ於テ豫定本數ノ補植ヲナスモノトス

第九條 殖樹獎勵金ヲ受ケタル森林ニ於テ枝打、間伐、及枯損木等ノ伐採ヲ爲サントスルキハ豫メ縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十條 殖樹獎勵金ヲ受ケタル森林ニシテ災害ニ罹リタルキハ三十日以内ニ其狀況ヲ縣廳ニ具申スヘシ

第十一條 殖樹獎勵金ヲ受ケタル森林ニハ時々吏員ヲ派遣シ實況ヲ視察セシノ手入保護監督ノ方法ニ付指揮セシムルコトアルヘシ管理者ハ是カ實行ノ責任アルモノトス

第十二條 共有地管理者ハ殖樹獎勵金ヲ受ケタル年ヨリ向后三ヶ年間毎年一月三十日迄ニ前一ヶ年ノ實況報告ヲ縣廳ニ差出スヘシ

第十三條 殖樹獎勵金ヲ受ケタル森林ニシテ保護監督ヲ怠リ若クハ本則ノ規定ニ違反シ又ハ命令ヲ實行セサルモノアルキハ下付ノ金額ヲ返納セシムルコトアルヘシ

一農商工統計報告ノ確實ヲ得ヘキ方法如何

農商工ノ盛衰消長ヲ詳ニシ之ヲ既往ニ照シ將來ニ鑒ミルハ勸業上ノ要務ナリ是レ統計ノ確實ヲ期シ報告ノ敏捷ヲ圖ル以所ナリトス然レモ統計報告ノ精覈ヲ得ルハ頗ル難事ニ屬セリ故ヲ以テ明治十六年農商務省令第二十一號ヲ以テ始メテ通信規則ヲ定メラレタル以來事務取扱上ニ數次ノ改正ヲ加ヘ廿八年訓令ヲ以テ農商工統計報告規程ヲ定メ郡市役所町村役場ニ各主任ヲ置キ尙其事ニ精通ナル者ニ調査委員ヲ囑托シ諮詢顧問ノ道ヲ開キ以テ專ラ之レカ正確ナラシムトテ勉メリト雖モ其調査ノ結果ヲ見ルニ未以テ憾ナキ能ハサルナリ依テ最モ簡易ニシテ稍々信憑スヘキ統計報告ヲ得ヘキ方法ハ如何ニセハ可ナルヘキ乎

答申

本問題タル勸業上重要ノ事件ニシテ實ニ深思熟考ヲ要ス然ルニ本件ニ對シテハ既ニ農商務省令及本縣訓令ヲ以テ統計報告ノ規程ヲ定メラレタレハ之ヲ法規上ヨリ觀察セハ報告ノ機關ハ完全備具セリト謂ツ可キ也然レトモ事實上ヨリ推究シ來レハ機關

ノ完備ハ徒ニ其名ノミニシテ其實ヲ見サルナリ換言セハ精良ノ機關ハ据付ケアルモ之ヲ運轉スル技手ト石炭ニ乏シキノ感ナキニアラス

本諮問按説明ニ依レハ郡市役所町村役場ニ各主任ヲ置キ尙其事ニ精通ナル者ニ調査委員ヲ囑托シ諮詢顧問ノ道ヲ開キ云々是レ所謂其名ノ美ニシテ其實ヲ得サルモノナリ何トナレハ現時ノ調査委員タルモノハ多ク郡市町村ノ名望家ヲ標準トシテ委囑セラルル名望家素ヨリ調査委員タルニ於テ不可ナシ然レトモ名望家必シモ所謂其事ニ精通スルモノニアラス其事ニ精通セサルモノヲシテ其事ニ從事セシメントス猶ホ文學専門ノ士ニ望ムニ工學ノ技術ヲ要スル事業ノ成功ヲ以テスルト何ソ異ナラン假リニ現時ノ調査委員ハ其事ニ精通セルモノトスルモ農商工統計調査ノ事項タル殆ント五十三項ノ多ニ渉ル繁雜極マル調査ト謂ハサル可ラス且又統計調査ノ材料ナルモノハ一定ノ標準トナス可キモノナシ故ニ之ヲ精確ニ調査セシメンニハ少ナクモ其事ニ精通セルモノヲシテ一ヶ月位ハ專心從事セシムルニアラサレハ爲ス能ハサル事ナリ然ルニ平素吏務ニ執掌セル郡市町村吏員ト世務ニ汲々タル名望家ニ付托セシムルモノ

ナレハ勢ヒ輕忽姑息卓上ノ空想ヲ算出スルノ止ム可ラサニル至ルハ數ノ免レサル所  
況ンヤ此ノ至難ノ事業ヲ無償行爲ノ範圍ニ成功ヲ望ムニ於テチヤ蓋シ名望家ナルモ  
ノハ調査委員タル名譽職上ニ行動スルモノニアラス無償行爲ハ至難事業ニ對シ人ヲ  
行動セシムルノ道ニアラサルナリ

前述ノ理由ヲ約言セハ機關ヲ運轉セシムルハ技手ト石炭ヲ要スル如ク統計調査モ其  
人ト金力ヲ要ス二者相須ツテ機關ノ運轉ハ望ム可キナリ故ニ本員等ハ左ノ方法ヲ以  
テ適當ト思料ス

一 調査委員ハ名望家ヲ標準トセス勸業上ニ熱心ナル實業家ニ委嘱スル

一 廿八年訓令乙第十三號統計報告ノ事項ハ其數夥多ナルヲ以テ其ノ調査種類ノ重  
要ナルモノ即チ現今本縣ニ於テ最モ改善發達ヲ希圖セル十七種ノ産額及輸出入  
ヲ精密ニ調査スルヲ目的トスル

一 此際特ニ統計材料取調委員ナルモノヲ各市町村ニ一名ツ、ヲ置キ統計材料元簿  
ヲ調製セシムル

一 取調費トシテ金三千百六十四圓ヲ地方稅ヨリ支出スル

但一町村金七圓トス（金五圓 取調委員手當  
金貳圓 取調諸費）

一 取調委員ノ選任及指揮監督并ニ調査手續及様式ハ訓令ヲ以テ市町村ニ達示スル

一 五ヶ年毎ニ前項ニ據リ再調査ヲナサシムル

右ノ如ク此際特ニ統計取調委員ヲ定メ其取調タル事項ヲ製表シ之レヲ各市町村ノ統計材料  
ト元簿ナシ兼テ定ムル調査委員ヲシテ之レニ準據シ年々報告ヲナサシムルモノトセハ或ハ  
精確ノ報告ヲ得ルニ至ラン此段答申候也

十月二十四日午前第十一時四十分開會一同着席

會頭高崎知事開會ニ先チ演說ヲ爲ス其大意左ノ如シ

此度勸業諮問ヲ開キマス今般ノ諮問案ハ過日御配付致ノ御座ヒマスカ此諮問案ヲ議スル  
ニ先チ前年ノ諮問案ニ對シ御答申ニナリマシタ其要領ニ就キ今日迄ノ事蹟ヲ御報告申マス  
前會ニ於キマン第一項（農會ニ於テ施設スヘキ事業方法如何）此御答申ノ趣意ニ基キ町村農  
會郡農會ノ設立誘導ノ結果今日テハ郡農會カ六、町村農會カ貳百五拾壹ト云フ者ニ成立テ

居リマス農會ニ向ツテ地方稅補助ト云フモノモ御答申ノ内ニ御座ヒマス故昨年縣會ニ補助ノ豫算ヲ請求致シマシタカ不幸ニモ否決セラレタ爲メ補助ハ成立テ居リマセヌ併シナカラ之ハ將來ニ見ル所カアリ又前年御答申ノ趣意モアリマスカラ本年ノ縣會ニ對シテモ尙豫算ヲ提出スル目的テ居リマス第二項（巡回講話ノ成績及將來ノ希望如何）ト云フ問題ノ御答申ハ農事講習所ノ教師ヲ以テ精々巡回講話ノ運ヲ致シテ居リマス第三項（勸業調査委員ヲ設クルノ可否如何）之レモ御答申ニ基キ委員ヲ選定各府縣ヘ向ケ即チ葉煙草ニ就テハ神奈川、茨城、福島ニ麻ニ就テハ栃木、藍ニハ徳島苗木ハ奈良ノ各縣ニ委員ヲ派シテ調査ヲ遂テ御座ヒマス其外ニ米作改良ノ事ニ就キマシテハ山口縣ニ委員カ出ル事ニ成テ居リマスケレモ本年收穫ノ際ニ出張スル筈テ未タ着手シテ居リマセヌ第四項（産米ノ調製及販賣上ニ於ケル弊害矯正ノ方法）之ニ就テハ矯正ノ方法トノ各種ノ事項ヲ答申ニナリテ居リマスカ前項ニ述ヘマシタ通り防長米ノ調査カ未タ濟ミマセヌカラ右ヲ參照シテ後日尙ホ取調ヲスル積リテ御座リマス第五項ノ（共進會品評會開設ニ對スル制限）之レモ御答申ノ通りス夫々目的ヲ定テ居リマス故詳シク申マセヌ第六項（共進會褒賞授與制限如何）之モ御答申

中ニ基キ豫ノ其補助額ヲ各郡ヨリ申出ツル手續ヲ定メテ訓令ヲ發ンアリマス第七項ノ（農工商統計報告ノ確實ヲ得ヘキ方法如何）之ハ前會ニア可決ニナリマセヌ故今回ノ問題ノ中ニ加ヘテアリマス第八項（職工雇傭上ニ關スル取締規則發布ノ要否如何）之ハ發布ノ必要カアルト云フ御答申テアリマスカ此職工制度ニ就テハ主務省ニ於テ目今調査中ニ屬シテ居リマス世上ニモ又色々議論ノアル事アル故主務省テ法律トシテ出シマスカラ今日本縣テハ決定センテ居リマス主務省ノ方針如何ニ依テ定メル積テアリマス前年ニ於ケル御答申ニ對シテハ右様ノ運ヒテアリマス尙今回ノ問題ニ就テ大体ノ趣意ヲ述ヘテ置キマスカ第一（花苳業ノ衰頹挽回ノ方法如何）此花苳業ノ事ニ就マンハ目下不振ノ境遇ニ陷テ居リマス此花苳ハ本縣ニ於テ輸出重要品ノ最モ重ナル物ニナツテ本縣固有物産ト云フ品物テアリ其興産額ニ於テモ二十八年ニハ貳百貳拾七萬圓ト云フ額ニ達シテ居リマシタカ夫カ昨年ニハ減シテ百万圓ニ落テテ居リマス實ニ不振ノ境遇歎息ノ至テアリマスカ昨今ニテハ少シク挽回ノ傾キハアリマスケレモ未タ其目的ヲ如何シテ宜シヒカト云フ事ニハ殆ント迷フテ居ル様テアリマスカラ諸君ニ於テ何カ挽回ノ御名案カアリマスレハ御提出アラントテ望ミマス



次ハ（螟蟲發生ノ狀況及其驅除方法如何）之ハ説明モ付シテアリマスカラ充分御講究アラ  
 ンコト望ミマス（養蠶試驗場設置及鱸釣教師備聘ノ可否）此蠶ハ兒島灣ニ養成シテ居ル丈  
 ケテ外ニハ及ンテ居リマセヌ本縣ノ沿岸ハ蠶ノ養成ニハ富テ居ルカト思ヒマス將來此事業  
 カ發達スレハ一廉ノ物産ニナリハセヌカト云フ目的テアリマスカラ先ツ縣下ニ貳ヶ所程試  
 驗致シテハ如何ト云フ思ヒ付キテ諮問案ヲ出シマシタ夫カラ鱸ノ事テアリマスカ此鱸ト云  
 フモノハ普通ノ魚族ニ對シ坊害ヲ與フルモノテアルカラ之ヲ補獲スレハ有益ナモノテ此釣  
 方カ本縣テ行ハレマスレハ普通魚族ノ安全ヲ圖リ併セテ收益ヲ得ルト云フ考テ此案ヲ思ヒ  
 付キマシタ（種牡牛ニ檢印烙記ノ可否）之レモ説明書ニアルカラ詳シク申シマセヌカ牛ハ  
 是レ又本縣ノ特有物産テアリマスカラ將來益蕃殖ヲ圖ル爲メ此案ヲ提出致シマシタ（種牡  
 牛定期検査ニ委員ヲ選任シ検査ヲ施行セシムルノ可否）之モ前ト同様テアリマスカラ尙御  
 熟考ヲ願ヒマス（明治三十二年度春期管内共進會開設ノ可否）之ハ去ル明治二十六年ニ米  
 綿、繭、生糸ノ四種ニ就キマシテ開會ヲ致シタコカアリマス尙此目的ニ基キマシテ此品目ヲ  
 殖シテ即チ右ノ外藍、煙草、茶、花苴、疊表、麥稈眞田、紙、織物、牛ヲ加ヘテ開催スレハ如何

テアラフカト云フ考カラ提出致マシタ（明治三十一年度ニ於テ勸業上調査スヘキ種目如何）  
 之ハ前回ニ於テ調査ヲ致シマシタ目的ニ依テ尙此案ヲ提出シマシタ次ハ法律第十号蠶種檢  
 査法及農商務省令第八号ニ依テ（蠶種検査施行手續）ヲ諮問案通り規定シタヒ之ハ法律ノ結  
 果テ蠶種検査ノ手續ヲ設ケナケレハナリマセヌ次ハ（農商工統計報告ノ確實ヲ得ヘキ方法  
 如何）之ハ昨年ノ諮問會テ可決ニナランテ其儘當年ニ讓ルト云フコトニ成テ居ルモノテア  
 リマス今一ツハ（一町村若クハ一大字ノ共有山林原野ニ苗木新植又ハ天然生ノ種樹ヲ養成  
 シタルモノニ獎勵金下付ノ事）此山林養成ノ事ニ就キマシテハ本縣ニ於テ最モ務メナケレ  
 ハナラヌ事業テアリマシテ是迄手カ着ヒテ居リマスカ尙一層手カ着ケタヒ考テ此案ヲ出シ  
 マシタ先今回ノ諮問案ハ之レ丈ケテアリマスカ外ニ御意見カアレハ伺ヒタヒ又私ニ於テモ  
 既往將來ニ向ツテノ意見ヲ申述ヘタヒ考ヘモアリマスカ此案ノ御議定ノ後申シタヒト思ヒ  
 マスカラ之ヨリ本問題ニ就キマシテ御開議アランコトヲ望ミマス  
 右終ル時ニ正午十二時休憩午後第一時十分開議會頭高崎知事ハ本會ノ會議ニ掛ルヘキニヨ  
 リ諮問ノ問題ニ就キ質問スヘキ旨ヲ告ク多少質問中調査委員ニ付託スヘキノ議起リ一二ノ

反對説アリテ亦質問アリ午後第二時十五分閉會

本月二十五日午前第十時十分開會前日ニ引續キ質問アリタル末調査委員附託説起リ一二ノ  
反對説アリシモ遂ニ委員附託説ニ決シ夫ヨリ藍調査ノ報告希望アリシニ依リ相田嘉三郎之  
カ調査上ノ事項ヲ演説シタリ終テ會頭ハ左ノ通り委員ヲ指名セリ

第一項(花莖葉ノ衰頽挽回ノ方策如何)

四十二番 香川 眞一

四 番 星島 謹一郎

十 番 矢吹 正卿

二十三番 田邊 禎夫

四十三番 秋山 宗三郎

十三番 石田 武平太

第二項(螟虫發生ノ狀況及其驅除方法如何)

二十五番 大森 馬之

三十四番 大塚 香

四十九番 柚木 梶雄

十六番 岡田 穰

三十八番 妹尾 伍平

四十七番 片山 光右衛門

第三項(養蠟試驗場設置及蠶釣教師聘備ノ可否)

四十番 渾大防 益三郎

二十二番 野吹 秀太郎

二十番 赤松 健太

四十四番 井手 杏平

三十六番 岡 繁藏

第四項(種牡牛ニ檢印烙記ノ可否)

第五項(種牡牛定期檢査ニ委員ヲ選任シ檢査ヲ執行セシムルノ可否)

- 十四番
- 三十七番
- 四十一番
- 二十九番
- 貳番
- 四十五番

第六項(明治三十二年春期管内共進會開設ノ可否)

- 三十三番
- 三十一番
- 六番
- 三番
- 二十八番
- 二十四番

- 櫻井彌壽二
- 柳井重宣
- 戸田江三郎
- 佐野篤太郎
- 田邊崇平
- 名和彌三郎

- 大石廉
- 河田繁穗
- 木山精一
- 岩堂保平
- 莊寬一郎
- 林醇平

- 十七番
- 三十五番

- 三村政太郎
- 黒田彌平

第七項(明治三十一年度ニ於テ勸業上調査スヘキ種目如何)

- 八番
- 九番
- 二十一番
- 三十二番
- 十九番
- 十八番

- 水谷隆徳
- 東三省
- 龜山猪之助
- 高田信一郎
- 妹尾專太郎
- 甲田完之

第八項(蠶種検査手續之件)

- 二十七番
- 四十六番
- 十二番

- 梶谷武
- 兒島譜二郎
- 荒木隆治

- 五番 畑 信 好
- 七番 山崎 樵 夫
- 三十九番 吉田 臺之助
- 三十番 相田 嘉三郎

第九項（一町村若クハ一大字ノ共有山林原野ニ苗木新植又ハ天然生ノ種樹ヲ養成シタルモノニ獎勵金下付ノ事）

- 四十八番 福原 嘉之
- 十五番 高畑 漁平
- 二十六番 平川 廣三郎
- 壹番 石井 策太郎

右終テ本日ハ土曜日ナルヲ以テ午前第十一時五十分閉會退散

九月二十六日ハ日曜日休會

九月二十七日ハ委員各自擔任ノ事項調査ノ爲メ開議セス

九月二十八、二十九、三十、三日間ハ各委員ヨリ提出セシ答申案ニ就キ各員審議討論セリ最終ニ臨ミ會頭高崎知事演説ヲ爲シタリ其答案議決及演説ノ要旨左ノ如シ

第一項 花蕪業ノ衰頹挽回ノ方策如何

本項ニ對シ委員ノ答申左ノ如シ

本縣下産出ノ重要輸出品ニシテ海外ニ聲價ヲ博シタル花蕪カ昨年來商況不振ノ爲メ今日ノ如キ衰頹ヲ來シタルモノハ必スヤ其原因スル所ナクンハアラス故ニ之カ挽回ノ方策ヲ求ムルニ當リテハ先ツ衰頹ノ原因ヲ明確ニスルヲ要スルナリ花蕪業カ今日ノ如キ衰頹ヲ來シタルモノハ素ヨリ幾多ノ原因アルヘシト雖トモ之ヲ要スルニ左ノ三点ニ歸着セサルヲ得ス

- 一 供給ノ度需用ニ超過シ爲メニ價格ノ低廉ヲ來シタルコト
- 二 製造者ト販賣人トノ區別判明セス製造者ニシテ個々外國商館ニ出入シ互ニ價格ノ低廉ヲ競ヒテ其注文ニ應シ其結果製品粗惡ニ流レ需用者ノ信用ヲ欠キタルコト

三 米國海關稅法改正ノ實施

而シテ右三原因ニ對スル救濟ノ方法ヲ列舉センニ

- 一 斯業ノ發達ニ伴ヒ供給ノ需用ニ超過スルコトアルハ免レ能ハサルノ狀勢ナリ故ニ從來ノ如ク獨リ米國ノ需用ノミニ満足セス廣ク海外ノ狀勢ヲ觀察シ米國以外ノ各地ニ向ケ見本品ヲ輸送シ新タニ販路ヲ求ムルニ在リ
- 二 從來ノ不規律ナル取引ヲ正確ニシ及ヒ粗製品ヲ防遏スルノ目的ヲ以テ検査所ヲ設置シ製品ヲ検査シテ粗製濫造ノ弊害ヲ除却シ販賣ヲ監督シテ取引ノ方法ヲ矯正スヘシ即チ大分縣ノ如ク將タ廣島縣ノ如キ此方法ヲ施行シテ能其實効ヲ奏セルナリ
- 三 米國ニ於テ無稅ナリシ所ノ花薙カ關稅改正ノ結果トシテ上等品及下等品ハ格別ノ影響ヲ被ラサルモ原價拾圓内外ノ中等品ニ至リテハ八圓五拾錢許ノ關稅ヲ課セラルコトナリ殆ト原價ノ倍數ニ販賣セサルヘカラス而シテ此中等品ハ本縣下產出ノ花薙其最多額ヲ占ムルカ故ニ本縣下ノ當業者ハ他地方ノ當業者ニ比シ特ニ關稅改正ノ影響ヲ被ラサルヲ得ス然レトモ當業者ニシテ能ク米國市場ノ意向ヲ察知シ機宜ヲ制シテ之ニ處スルコトヲ得ハ假令其販路ノ幾分ヲ減殺セラルモ之カ爲メニ輸出ノ途絶スルカ如キコトハアラサルヘシ

然リ而シテ如何ニセハ果シテ能ク前掲ノ救濟方法ヲ實行シ現時ノ衰頹ヲ挽回スルコトヲ得ンカ幸ヒニ政府ハ常ニ海外貿易ノ振張ヲ企圖シ本年四月法律第四十七号ヲ以テ重要輸出品同業組合法ヲ公布シ次イテ本月十七日該法ノ施行細則ヲ發布セラレ重要物産ノ輸出ヲ獎勵保護スルニ汲々タリ而シテ我縣下ニ在テハ從來同業組合準則ニ基キ組織シタル所ノ花薙業組合アリト雖トモ素ヨリ法定上ノ制裁ヲキカ故ニ其基礎自カラ鞏固ナルヲ得ス從ツテ當業者ヲ統一シ組合ノ目的タル營業上ノ弊害ヲ矯正シ其利益ヲ圖ルニ當リ充分ノ活動ヲ爲スコト能ハサリシニ今ヤ右等法則ノ出ツルニ會ヒ其組織ヲ更改シ法定組合ヲ設置セントシ目下之レカ準備ニ着手セルノミナラス本業ノ衰頹ヲ挽回センカ爲メ製品検査ノ方法ヲ設定シテ粗製濫造ノ弊害ヲ防止セントシ廣ク見本品ヲ海外ニ輸送シテ販路ヲ擴張セントシ今ヤ外務省ノ贊助ヲ得テ濠州、南亞米利加、歐州大陸、亞細亞及ヒ海峽殖民地等ノ要地ヘ向ケ其見本品ヲ輸送セントセリ故ニ地方稅ヨリ若干ノ金額ヲ同組合ヘ下付シ販路擴張及製品検査ニ關スル事業ヲ幫助セハ能ク現時ノ衰頹ヲ挽回フルニ止マラスシテ益々斯業ノ發達ヲ期スルコトヲ得ヘシ果シテ然ラハ寔ニ縣下ノ福利ヲ増進シ得ヘク而シテ今日ニ於ケル緊急ノ要務ナ

香川 眞一  
 星島 謹一郎  
 矢吹 正卿  
 秋山 宗三郎  
 石田 武平太

右ニ對シ三十四番(大塚香)ハ反覆熟讀スルモ毫モ間然スル處ナキ旨ヲ述ヘ其他ニ一言ノ異議ナク本案ヲ以テ本會ノ意見トナスコトニ決ス

第二項 螟蟲發生ノ狀況及其驅除方法如何

本項ニ對シ委員ノ答申左ノ如シ

螟蟲發生ハ比年多キヲ加ヘ殊ニ本年ヲ以テ甚シトス今ニシテ之レカ驅除ヲ怠ルトキハ其大害ヲ後年ニ遺スヤ必セリ故ニ明治二十九年本縣令第四十九号第三條ヲ適用シ全年訓令乙第三十四号害虫驅除豫防法鱗翅部第一項第三項第四項第五項ヲ勵行セラレンコト切ヲ望ス

大 森 馬 之  
 妹 尾 伍 平  
 片 山 光 右 衛 門  
 大 塚 香  
 岡 田 穰

右ニ對シ二番(田邊崇平)ハ虫害ノ際令達ヲ勵行スルハ當然ニシテ諮問案ハ法令以外ニ良法ヲ求ムルノ意ト思考ス委員ニ於ケル調査上ノ意見ヲ聞ント述フ三十四番(大塚香)ハ之ニ答フルニ虫害發生ノ狀況ヲ詳述シテ而シテ答申案ニ第二項ヲ除キシハ此項ニ限り手數ヲ要スルモノト思考シタレハナリ本年浮蘆子ノ害アルモ未タ其勵行ナキ故此際勵行スレハ現ニ發生セル螟蟲ヲ驅除シ盡スノ効アリ云々ト答フ三十七番(柳井重宣)ハ訓令ヲ勵行スレハ豫防シ得ルモノ、如クナレトモ之レヲ其大ヒナラサル時ニ防カンニハ別ニ虫害驅除委員ノ如キモノヲ設ケ郡中ヲ巡回セシメンコト望ムト述ヘ五番(畑信好)ハ之レヲ賛成シテ答申案ニ加フヘキ旨ヲ述ヘ二三ノ反對說アリ起立ニ問ヒ委員說ニ決セリ

第三項 養蠟試驗場設置及鰺釣教師聘備ノ可否

本案ニ對シ委員ノ報告左ノ如シ

養蠟ノ必要事業ニシテ而カモ縣下沿海中ニ於テ其適地ニ匱シカラサル夙ニ實業者ノ識認セル所ナリ故ニ今ヤ廣島縣下ニ在テ行ハル、所ノ方法ニ則リ和氣郡片上灣小田郡西濱灣ノ兩所ニ於テ先ツ適宜ノ海面ヲ區畫シ養蠟試驗場ヲ設置シ以テ斯業獎勵發達ヲ圖ルハ目下ノ要務ナリト信ス

鰺漁業ノ収利アルハ縣下兒島郡日比村及和氣郡日生村ヨリ遠海ニ出漁セル漁民ノ其實況ヲ目撃シテ常ニ羨望唱道スル所ナリト雖トモ未タ其漁獲法ヲ習熟セサルヲ以テ徒ニ傍觀放棄スルニ過キス故ニ鰺漁法ニ熟達セル教師ヲ聘備シ縣下沿海漁民ヲシテ其漁獲法ヲ習得セシメ以テ從來瀬戸内海ニ於テ多ク游泳セル鰺魚ヲ漁獲シテ他漁業ノ保安ヲ圖ルト同時ニ更ニ斯業ノ遺利ヲ取得シ併テ遠海漁業ヲ誘導發達セシムルニ至テハ蓋シ其利益ハ獨リ本縣下ニ止マラサルヘシ依テ鰺漁教師ノ聘備ハ最モ必要ノ事業ナリト信ス  
要之ニ前二者共從來遲々トシテ進マサリシ縣下水産事業中最モ必要ノ急務ナリト信スルヲ

以テ縣知事ハ宜ク地方費ヨリ相當ノ金額ヲ支出シテ此種産業ノ振興發展ヲ企畫セラレシト敢テ冀望スル所ナリ

渾大坊 益三郎

岡 繁 藏

赤 松 健 太

井 手 杏 平

野 吹 秀 太郎

右ニ對シ費用其他ノ質問アリテ十三番(石田武平太)ハ小田郡ノ蠟ハ一ノ地方病アリテ壹年限死滅スルト聞ク此病害ヲ除クヘキ試驗ヲモ併セテ望ムト述ヘ其他ハ異議ナク委員說ニ決ス

第四項 種牡牛ニ檢印烙記ノ可否

本案ニ對シ委員ノ報告左ノ如シ

種牡牛ニ檢印ヲ烙記スルハ認識スルノ方法中最モ容易ノ手段ニシテ牛種改良ノ實ヲ舉ケン

トスルニ方リテハ斷行シテ憚ナシト雖トモ縣下自由交尾ノ弊風古來慣ナシ動モスレハ種牛受檢ノ手數ヲタニ嫌忌スルノ傾キアリ況ンヤ檢印ヲ烙記スルニ至ラハ當業者徒ラニ之ヲ忌ミ種牛受檢ノ數ヲ減シ却テ退歩ヲ見ルニ至ラン然リト雖トモ種牛ヲシテ一目認識シ易カラシムル方法モ亦決シテ忽ニスヘカラス故ニ一二ノ方案ヲ定メテ左ニ列記シ以テ諮問ノ方法ニ換ヘントス宜ク二者ノ中優ナルモノヲ採用シ而シテ其費用ハ地方費中牛馬獎勵費ヨリ支出シ速ニ實行アラシムトナ

一 金屬(巾五分許ニシテ兩端漸狹)ノ輪環即チ指環ノ如キモノヲ以テ其頭角ヲ卷キ卷留ノ環端ヲ重チ合セ螺旋針ヲ以テ之ヲ留メ留針ノ尖頭ハ少シク頭角ニ穿入セシム而シテ其輪環中檢印ヲ刻スルモノトス

二 金屬徑二分許ノ環ヲ以テ耳朶ヲ狹マシメ其環ノ一方ニ螺旋ヲ設ケ適宜耳朶ヲ締メ込ミ脫失スルノ憂ナキニ至テ錠ヲ鎖シ其錠ハ縣廳之ヲ保管シ開鎖ヲ爲ス而シテ其環中檢印ヲ刻スルモノトス

第五項 種牡牛定期檢査ニ委員ヲ選任シ檢査ヲ執行セシムルノ可否

本案ニ對シ委員ノ報告左ノ如シ

檢査ノ公平及民間ノ信認ヲ得ルコトニ於テ最モ適當ナル方法ト信ス然リト雖トモ今ヤ縣下畜産界ノ狀況其時期ニ至ラサレハ實際ニ於テ有効ノ成績ヲ見ル或ハ難カラシ故ニ本件ハ暫ク從來ノ檢査法ヲ以テ施行シ他日ヲ待テ實施セラレシムト望ム

櫻井彌壽二

柳井重宣

佐野篤太郎

戸田江三郎

田邊崇平

右第四項種牡牛ニ檢印烙記ノ可否ニ就テ種々質問討論アリシカ六番(木山精一)ノ其方案二項ノ内第一ノ方案ニ定メ而シテ其案文ノ修正ハ書記ニ於テ修正セント云フ說ニ決シタリ其修正案左ノ如シ

第四項 種牡牛ニ檢印烙記ノ可否



種牡牛ニ檢印ヲ烙記スルハ認識スルノ方法中最モ容易ノ手段ニシテ牛種改良ノ實ヲ舉ケン  
トスルニ方リテハ斷行シテ憚ナシト雖トモ縣下自由交尾ノ弊風古來慣チナシ動モスレハ種  
牛受檢ノ手數ヲタニ嫌忌スルノ傾キアリ況ヤ檢印ヲ烙記スルニ至ラハ當業者徒ラニ之ヲ忌  
ミ種牛受檢ノ數ヲ減シ却テ退歩ヲ見ルニ至ラン然リト雖トモ種牛ヲシテ一日認識シ易カラ  
シムル方法モ亦決シテ忽ニスヘカラス故ニ左ニ法案ヲ定メ以テ諮問ノ方法ニ換ヘントス而  
シテ其費用ハ地方費中牛馬獎勵費ヨリ支出シ速ニ實行アラントス

一 金屬(巾五分許ニシテ兩端漸狹)

輪環即チ指環ノ如キモノヲ以テ其頭角ヲ卷キ卷留ノ環端ヲ重チ  
合セ螺旋針ヲ以テ之ヲ留メ留針ノ尖頭ハ少シク頭角ニ穿入セシム而シテ其輪環中檢  
印ヲ刻スルモノトス

右第五項種牡牛定期検査ニ委員ヲ選任シ検査ヲ執行セシムルノ可否答申案ニ就キ四十一番  
(戸田江三郎)ハ此諮問案ハ適當ナレトモ大体畜産組合ノ組織カ成立シテ居ラヌ故委員組織  
ニ爲ス若行ハレヌト云フ趣旨アル夫ニ就キ前會ノ諮問會ニ畜産組合ノ方法ヲ諮問ニナリ  
シ時當會ハ縣令ヲ以テ畜産組合ヲ設立セラレノコトヲ答申シタリト思フ其際組合準則ノ發

布ハ差支ヘサルモ組合法ヲ縣令ニテ發布スルハ差支フルトノコトアリシカ其準則ハ今日  
出テ居ラヌ縣令モ勿論出テ居ラヌ又其答申ノ趣旨ト今日ハ變ツテ居ル畜産組合ハ必要テア  
ルカ縣令ヲ以テ制裁ヲ加フルコトハ出來サルカ縣廳ノ意見ヲ問フト述フ番外一番(李家書  
記官)ハ之レニ答ヘテ其組合ノ必要ハ感シテ居ルモ當業者ノ從業者ニ對シ縣令トシテ發布  
スルノ情况カアルヤ否ヤカ分カラヌ故準則タモ出サスアリ必要ハ知リツ、モ本縣ノ將來ニ  
ハ如何ナル準則ヲ發布シテ適スルヤノ考ヘハ今日迄ハ有シテ居ラヌ故見合タレトモ將來其  
運ヒニ到着スルハ期シ居レリト答フ其他ニ毫モ異議ナク委員說ニ決セリ

第六項 明治三十二年春期管内共進會開設ノ可否

本案ニ對シ委員ノ報告左ノ如シ

本縣共進會開設ノ可否ニ就テ考フルニ是ヨリ先去ル二十八年京都ニ於テ内國勸業博覽會及  
本年兵庫縣ニ開カレシ關西府縣聯合共進會ニ於ケル本縣ノ出品ヲ觀ルニ一二優等ノ物産ナ  
キニアラスト雖トモ他ハ概チ言フニ足ラスシテ他府縣ニ對シ慚色ナキヲ得ス且今ヤ町村郡  
農會ヲ設ケラレ縣農會モ亦起ラントスルノ時ナルヲ以テ之カ開設ノ可否ハ殆ント言フチマ

タス寧ロ其時期ニ關シテハ早シト稱センヨリモ遅キノ感アリト信ス然レトモ設備ノ要スルモノアルカ故ニ本縣ノ如ク三十二年春期若クハ初夏ヲ以テ其時トスルハ適當ナルヘシ品目ニ至リテハ本案十三種ノ外綿、繭、陶器ノ三種ヲ増シ又水産物ヲ加ヘテ可ナランカ尙一言スヘキハ參照ニ掲ケラレタル費金ノ如キハ全然地方稅ヨリ支出ノ豫算ナルカ如シト雖トモ先ツ開設地ノ市若クハ町ヲシテ其總費金ノ三分ノ一以上ヲ寄付セシメラレシコトヲ望ム

- 林 醇 平
- 木 山 精 一
- 三 村 政 太 郎
- 大 石 廉
- 河 田 繁 穂
- 莊 寬 一 郎

右ニ對シ二十五番(大森馬之)ハ答申案ノ末文ニ其開設地ノ市又ハ町ヨリ開設費ノ三分ノ一以上ヲ寄付セシメントアリ然ルニ此共進會ハ僅ニ三千四百圓ヲ要スルニ止マルモノナレ

ハ仕組モ大ナルモノニアラス又出品モ米麥其他ニテ著シキ出品ニアラサル故開設所在地ニ多數ノ利益ハアラサルト思フ或ハ聯合府縣共進會ノ如キハ規模大ナレハ參觀者モ多ク爲メニ直間接ニ利益ヲ受クル故開設所在地ヨリ金ヲ出シテ希望スルモ此會ハ多少趣ヲ異ニシテアル幸ヒニ開設スルトシ三分ノ一ヲ所在地ヨリ寄付セシメントシテ置キ寄付セザルトキハ地方稅豫算ニ組込難キ爲メ三十二年ニ開設シ能ハサル場合モアラン三十一年度豫算ニ對シテ切迫ノ今日ナレハ委員ノ意見ヲ聞カント述フ六番(木山精一)ハ之ニ答ヘテ神奈川、兵庫、奈良縣ニ於ケル既設共進會ノ例ヲ舉ケテ寄付ノ有無ハ斷言シ難シト雖トモ地方稅豫算ニハ組込置クヘシ而シテ寄付ノアル時豫算ニ組込アルヲ以テ寄付ハ受ケ得ラレメト云フ事ハナキト思フ旨ヲ答フ三十四番(大塚香)ハ答申案ノ字句ニ就キ修正ヲ求メ其修正ヲ要スル字句ハ答申案ニ遲キノ感アリト云フニ止メンカトアリシヲ書記ニ於テ信スト修正シ委員說ニ決セリ

第七項 明治三十一年度ニ於テ勸業上調査スヘキ種目如何

本案ニ對シ委員ノ報告左ノ如シ

縣下殖産興業上發達改善ヲ要スヘキ十七種類ノ中他府縣ニ於テ栽培調査ノ優等ナルモノ若クハ改良ノ事蹟顯著ナルモノニ就キ調査ヲ遂クルニ當リ其前後緩急ヲ考察スルニ本年調査濟ノ米製改良、煙草、麻、藍及樹苗栽培ヲ除ク外提出案四種目ヲ以テ最モ適當ト認定ス

水谷隆德

東三省

龜山猪之助

高田信一郎

右ニ對シ三十二番(高田信一郎)ハ本項ハ委員會ニ於テ諮問案ヲ可トシテ答案ヲ爲シタリ而シテ其人選ハ縣知事ノ選定ニ任スル意見ナリト述フ五番(畑信好)ハ製糸業、製紙業ニ岐阜縣ヲ害蟲驅除法ニ熊本縣ヲ増加セント述フ三十番(相田嘉三郎)モ又製糸業ニ福島縣ヲ増加セント述ヘ二三ノ賛成反對等アリ起立ニ問ヒシモ遂ニ委員說ニ決セリ

第八項 蠶種検査法施行手續發布ノ件

本案ニ對シ委員ノ報告左ノ如シ

蠶種検査法施行手續

第一條 蠶種ヲ製造セントスルモノハ第壹号書式ニ依リ所轄郡役所ヲ經由シ縣廳ニ願出鑑札ヲ受クヘシ

第二條 蠶種製造者身分住所氏名ニ異動ヲ生シ又ハ鑑札ヲ亡失毀損シタルトキハ其事由ヲ詳記シ所轄郡役所ヲ經由シ縣廳ニ届出鑑札ノ書換若クハ再下付ヲ請求スヘシ但廢業シタルトキハ本條ノ手續ニ依リ鑑札ヲ返納スヘシ

第三條 明治三十年六月農商務省令第八号蠶種検査法施行細則第一條規定ノ届出ハ所轄郡市役所ヲ經由スヘシ

第四條 蠶種製造者前條ノ届出ヲ爲シタル後其事項ニ異動ヲ生シタルトキハ縣廳又ハ蠶種検査所ニ届出ツヘシ

第五條 框製原種ハ壹枚ヲ貳十八區ニ劃シ一區ノ圓徑ヲ壹寸五分ト爲スヘシ

第六條 蠶種製造者ハ蠶兒四眠ニ就キタルトキハ其蠶兒ノ上簇及繭選別量定ノ月日ヲ豫定シ第貳号書式ニ依リ所轄検査所ニ届出ヘシ

第七條 蠶種検査法施行細則第五條第三号ニ規定シタル母蛾ハ其原種ト共ニ指定シタル期限内ニ所轄検査所ニ差出検査ヲ受クルモノトス

但便宜所轄外検査所ニテ検査ヲ受クルコトヲ得此場合ニ於テハ第六條届書ニ其検査所ヲ記入スヘシ

第八條 學術研究ノ爲メ蠶種ヲ製造セントスル者ハ其製造ノ場所掃立蛾量蠶種枚數蛾數等ヲ詳記シ毎年二月十五日限り郡市役所ヲ經由シ縣廳ニ届出承認ヲ受クヘシ

第九條 蠶種検査所ノ位置及所轄區域左ノ如シ但検査所ノ開始及閉鎖ハ之ヲ告示スヘシ

名稱	位置	所轄區域
輕部蠶種検査所	赤坂磐梨郡役所内	赤坂、磐梨、和氣、邑久、上道郡
高松蠶種検査所	賀陽郡役所内	岡山市、御野、津高、兒島、都宇、窪屋、賀陽郡
西江原蠶種検査所	後月郡役所内	淺口、小田、後月、下道郡

高梁蠶種検査所	上房川上郡役所内	上房、川上、阿賀、哲多郡
勝山蠶種検査所	眞島大庭郡役所内	眞島、大庭郡
弓削蠶種検査所	久米北條久米南條郡役所内	久米北條、久米南條郡
津山蠶種検査所	西々條外三郡役所内	西々條、西北條、東南條、東北條郡
勝間田蠶種検査所	勝北勝南郡役所内	勝南、勝北郡
英田蠶種検査所	吉野英田郡役所内	吉野、英田郡

第十條 本手續第一條第二條第四條ニ違背シ若クハ正當ノ事由ナクシテ第六條第七條ノ手續ヲ怠リタルモノハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

(第一号)

蠶種製造鑑札御下付願

住 所

一原種(製糸用種)

氏名

右蠶種肩書ノ場所(又ハ何郡何町村大字何番邸)ニ於テ製造仕度候間鑑札御下付相成度此段相願候也

年月日

右氏名印

右村長氏名印

岡山縣知事宛

(第二号)

上簇及繭選別豫定届

蠶種製造人

何郡何町村大字何番邸

何誰

一蠶種上簇

何月何日

一繭選別量定

何月何日

(蠶種掃立日時ヲ異ニシタルモノハ各種四)  
眠ニ就キタル毎ニ届出ヲ爲スモノトス  
(第七條但書所轄外ノ)  
検査所ヲ記スヘシ)

右及御届候也

年月日

右何誰印

蠶種検査所

御中

吉田臺之助

相田嘉三郎

梶谷武

山崎樵夫

荒木隆治

兒島讚二郎

畑信好

右ニ對シ五番(畑信好)ハ委員ニ於テ諮問案ヲ修正シタル理由ヲ述ベテ曰第七條ニ但書ヲ加ヘタルハ受檢人ノ便利ニ止マルノミ第九條第十條ヲ削除セシハ手數料ヲ徴セサルニヨル所轄區域ノ變更ハ實地ノ遠近地勢ノ便否ニヨリタルノミ第十條ニ六條七條ヲ加ヘサルハ四眠ノ際ハ多忙ノ際ナルヲ以テ故意ニアラスシテ届出ヲ爲サ、ルコトモアラシ又檢査期日ノ通知ヲ受ケシ際事故アリテ差支フルコトモアラシ實業獎勵法トシテハ少シク酷ナリト認ムルト拘留處分ヲ削除シタルハ斯業ニ關スル法律規則ニ拘留處分ノ條文ナキニヨル第二号雛形ニ括弧ヲ以テ但書云々ヲ加ヘシハ第七條ニ但書ヲ加ヘタル結果ナリト述フ二十二番(赤松健太)ハ原案ノ笠岡檢査所ヲ西江原檢査所ト修正シタル理由ヲ質問シ五番(畑)ハ之ニ荅辨シ卅四番(大塚香)ハ檢査所ヲ變更増置セント其意見ヲ述ヘ十番(矢吹正卿)モ又三十四番ノ増置意見ノ如ク變更セント述ヘ三十七番(柳井重宣)ハ増置說ヲ賛成シ二十二番(野吹秀太郎)ハ更ニ委員ニ託シ再調査ニ付セントノ提議ヲ爲シ四番(星島謹一郎)ハ二十二番(野吹)ノ說ヲ賛成ス之ヲ起立ニ問フニ動議荅案共ニ起立少數即チ本項ハ否決シタリ是ニ於テ十四番(櫻井彌壽二)ハ本項ハ法律ニ伴フモノニ付必成立セシメサルヘカス先キニ二十二番(野

吹)ノ提議ニ係ル委員付託說ヲ更ニ動議トシテ提出セント發議セリ依テ種々討論アリシモ遂ニ二十二番(櫻井)ノ前調査委員ニ付託スル說ニ決ス

右ニ對シ十二番(荒木隆治)ハ委員會再調査ノ報告ヲ爲シテ曰委員會ニ於テハ先キノ荅申案中名稱ノ部ニ於テ西江原トアルヲ笠岡トシ位置ノ部後月郡役所内トアルヲ小田郡役所内ト訂正シ檢査所ノ増加ハ其必要アル場合縣廳ニ於テ増加スルコトトシ目下ハ諮問案ノ儘ニテ差支ナキモノト決シタリ云々ト述フ十番(矢吹)之ヲ賛成シ他ニ異議ナク委員說ニ決セリ

第九項 一町村若クハ一大字ノ共有山林原野ニ苗木新植云々ノ件

本案ニ對シ委員ノ報告左ノ如シ

町村共有地殖樹獎勵規則獎勵トアルヲ賞與ト改メ左ノ通訂正荅申ス

但豫算原案之通

殖樹賞金下與規則

第一條、町村若クハ大字又ハ部落ノ共有山林原野ニ苗木ヲ栽培シ又ハ天然生ノ種樹ヲ養成

シ第二條ノ資格ヲ具ヘ其成績顯著ナルモノニハ郡長ノ具申ニ依リ賞金ヲ下與スヘシ

第二條 町村會若クハ區會ニ於テ左ノ事項ヲ決議シ實施シタルモノ

一 造林ノ目的

一 施業ノ方法

一 保護監督ノ方法

第三條 殖樹賞金ハ杉、扁柏、松、樺、樅、栗其他有益ト認ムルモノハ左記區別ニ依リ之ヲ

下與スヘシ

一 人工ノ苗木ヲ栽培シタルモノ

壹町歩ニ付金拾圓以内

一 天然生ノ種樹ヲ養生シタルモノ

全金貳圓以内

第四條 縣廳ニ於テ郡長ノ具申書ヲ受理シタルトキハ更ニ吏員ヲ派遣實査ヲ遂ケ其成績ニ

依リ賞與ノ金額ヲ決定スヘシ

第五條 殖樹賞金ヲ受ケタル森林ニハ時々吏員ヲ派遣實況ヲ視察セシメ手入保護監督ノ方

法ニ付指揮セシムルコト

第六條 賞金ヲ受ケタル地元町村長ハ其年ヨリ向フ五ケ年間毎年一月中ニ前年ノ實況ヲ郡

役所ヲ經テ縣廳ニ報告スヘシ

但異常ノ災害ニ罹リタルトキハ即時其狀況ヲ報告スヘシ

石井 策太郎

平川 廣三郎

高畑 漁平

右ニ對シ十五番、高畑漁平)ハ答申案ト諮問案ト對比シ字句ノ修正加除ヲ爲シタル意見ヲ詳述セリ二十五番(大森馬之)ハ諮問案ヲ可トシ答申案ヲ廢案センコトヲ望ミ十番(矢吹正卿)ハ諮問案ヲ可トスルモ其第五條ヲ删除センコトヲ望ムト述ヘ二十九番(佐野篤太郎)ハ建議案ヲ提出セシモ賛成ヲ得ス番外二番(鈴木技師)ハ原案維持說ヲ述フ二十二番(野吹秀太郎)ハ諮問案ノ一町村若クハ一大字ノ下ニ(又ハ部落)ノ文字ヲ挿入セントノ動議ヲ提出シ三十番(柳井重宣)ハ第九條ノ枝折枯損木、伐採ヲ削除シテ單ニ間伐トシ他ハ二十二番(野吹)ノ動議ヲ賛成セリ種々討論アリシモ結局二十二番(野吹)ノ提出セル大字ノ下ニ(又ハ部落)ノ四字ヲ挿入スル動議ニ決セリ

(宿題)

農商工統計報告ノ確實ヲ得ヘキ方法如何

五十八

本案ニ對シ二十番(赤松健太)ハ郡中ニ在ル統計調査委員ニ取扱費ヲ支給セントノ動議ヲ提出セリ十二番(荒木隆治)四十三番(秋山宗二郎)之ヲ賛成シ十番(矢吹正卿)ハ二十番(赤松)ノ動議ニ反對シ本案賛成ノ意見ヲ述ヘ三十四番(大塚香)ハ答申案ヲ提出シ其他種々討議質問等アリ起立ニ問ヒシニ三十四番(大塚)ノ提出セル左ノ答申案ニ議決セリ

農商工ノ盛衰消長ヲ詳ニシ之ヲ既往ニ照シ將來ニ鑒ミルハ勸業上ノ要務ナリ是レ統計ノ確實ヲ期シ報告ノ敏捷ヲ圖ル所以ナリ曩ニ農商工統計報告規定ヲ定メ郡市役所町村役場ニ各主任ヲ置キ尙其事ニ精通ナル者ニ調査委員ヲ囑託シ諮詢顧問ノ道ヲ開キ以テ専ラ之カ正確ナラシメトテ勉メラル、機關已ニ備ハルト雖トモ今日ノ現景ニ徴スルニ未タ以テ之ヲ運轉スルニ至ラサルノ憾アリ故ニ斷然之カ實行ヲ期セラシムコトヲ望ム

右終リテ會頭(高崎知事)ハ諮問案結了ノ旨ヲ告ケ而シテ左ノ演說ヲ爲セリ

私ハ諸君ニ一應愚見ヲ述ヘ且諸君ノ御意見ヲモ承テ置キタヒト云フ考アリマス今回幸ヒ勸業諮問會ニ就キ地方有力ノ方々ノ御參會テアリマスデ將來行政上此勸業ノ働キニ於テ何

カ宜シヒ御考案モアリマスナラハ其方法ヲ導カレンコトヲ偏ニ希望スル次第アリマス御承知ノ通り私モ當縣ニ赴任以來日尙淺ク各地ノ情况モ詳悉スルコトカ出來ス勸業上モ確タル意見ヲ定メテ居ルコトテアリマセメ凡ソ勸業ノ事ハ今更申ス迄モナク勸業ハ讀テ字ノ如ク即チ我ヨリ勸メテナスコトテアリマシテ他ノ事業ノ如ク自然ニ頭カラ墜下ツテ來ルモノテアリマセメ爾等自ラ爲サナケレハナラヌ事柄テ仕事カナイト云フテ擲テ措ケハ決シテ仕事カ有リマセメ亦爲サントスレハ幾ラテモ數限リナクアリマス此方カラ仕向ケ様テ幾ラテモアリマス隨分行政上勸業上ニ就テ政府ハ勿論地方テモ種々手ヲ爲シタコトカ各地方ニアリマスカ到底歸スル處ハ失敗ニ終リタト結果ハ成リテ居リマス充分ナル成績ノ舉タモノハ誠ニ少ナクアリマス然レトモ固ヨリ爲スヘキ事ハ十分爲サナケレハナラヌ事テ畢竟失敗ヲ取タト云フモノハ其初メノ目的カ定マラス講究ノ盡シ方カ足ラヌト云フ事テアツタト思ヒマス將來事ヲ爲サントスルニハ十分ニ是カ講究ヲ爲シテ其初メニ於テ其目的方針ヲ定メナケレハナラヌト考ヘマス是ナ一個人ノ仕事トシテハ例ヘハ商買スルニ相當ノ資本何程持ツテ此収利カ何程ト云フ見込ヲ付ケ合資會社株式會社ノ組織ヲシテモ種々ノ目的ヲ定メテ實行ス

五十九



へキモノト同様テ一般勸業行政モ確タル方針ヲ定メテ往カナケレハナラヌモノト私ハ考マ  
 ス其方針ヲ定メントスレハ廣ク有志ノ意見ヲ聞テ夫ヨリ十分ナル目的ヲ定メテ事ヲ行ハナ  
 ケレハナラヌ事ト考ヘマス諸君ハ各地方ニ於カレテ隨分實業ニ經驗アリ名望ヲ博サル、有  
 カナル方々テアリマステ諸君ニ對シ私カ今ノ目的ヲ以テ教ヲ受ケント欲スル次第デアリマ  
 ス此勸業ニ就キマシテハ其地方々々ニヨリマシテ夫々目的ヲ定メテ往カナケレハナラヌ事  
 ハ御承知ノ通デアリマスカ先ツ商業地テハ商業農業地テハ農業工業地テハ工業ト云フカ如  
 シ其地方ニ於テ所謂國テ申シマスレハ國是ト云フ者ヲ定メテ往カナケレハナラヌ例ヘハ米  
 國テアルナラハ農業ヲ主トスルトカ英國テアルハ商業ヲ主トスルトカ日本テアルハ工業ヲ  
 主トスルトカ矢張一縣内テモ重要物産トカ將來見込アル所ノ方針ヲ立テ、行ヲナケレハナ  
 ラヌ者ト思ヒマス我縣ニ於テハ如何ナル事物カ所謂此縣ノ國是ト定マルカト云ヘハ本縣ニ  
 於キマシテハ固有ノ職業トシテ農業カアリ自然ノ發達トシテ工業カアリ天然ノ事業トシテ  
 水産カアルト云フ譯テ先ツ農業工業水産業ト云フモノハ共ニ行政上將來目的ヲ定メテ充分  
 ニ獎勵發達ヲ圖テ往カナケレハナラヌ者ト考ヘマス先ツ其中ニ話カ長クナリマスカ須ク御

恐ヒテ願ヒマス其中ノ農業ニ就テ申マス我縣ノ行政上既往ニ就テ如何ナル獎勵ノ道ヲ圖  
 ツタカト云ヘハ御承知ノ如ク農事講習所或ハ農會或ハ品評會共進會ヲ設ケテ其他或ル事業  
 ヲ設ケテ縣費ノ補助ヲ與ヘテ是等ノ事業ハ著々進テ來テ居リマス然ラハ是テ十分事足ルカ  
 ト云ヘハ決シテ未タ此位ノ働キテ目的ヲ遂ケテ今日迄ノ仕事ハ未タ半ニ達セヌト考ヘマス  
 先ツ事物ニ就テ例ヲ舉レハ本縣テ農産物ノ主ナルモノハ何カト云ヘハ米テアル米ハ統計表  
 カラ書拔テ見マシタカ明治二十五年カ九十三万五千七百七十七石全二十六年ハ九十五万貳千  
 四百四石全二十七年ハ百貳十貳万四千八百六十七石全二十八年ハ百十八万七百四十石全三  
 十九年ハ百壹万三百三十石是ヲ作付反別ノ割合ニ勘定スレハ其間ニ幾ラカ改良ノ結果ヲ見  
 テ増殖ナシタル如ク見ヘマスカ著シキ進歩ハ先ツ統計表ノ上テ見ルコトハ出來マセヌ然ルニ  
 米ニ就テ最早改良ノ餘地カナヒカト云ヘハ私ハ斯フ云フコトニ疎ヒカ數年ノ統年表ノ上カラ  
 考フレハ尙十分改良ノ餘地カアルト認メルノデアリマス今日ノ我縣ノ米ノ作り方ニ就テ是  
 カラ改良ヲ圖テ往タナラハ何ノ位増ステアラウカト云フ胸算ヲ考ヘレハ充分ニ進メタナラ  
 ハ二割進ム壹割ナラハ請合ト考ヘマス其實例ヲ述ヘタヒト考ヘマスカ是ハ他縣ノ事デアリ

マス同シ米ノ事アアリマス何モ此例ヲ引クニ依估スルト云フコトハナヒト思ヒマス私カ前任ノ長野縣テハ縣ノ事業トシテ勸業費ヲ支出シテ各郡ニ改良米作ノ法ヲ設ケテ居ル其結果トシテ平均貳割五分増殖ニナツテ居リマス良ヒ所ハ三割四割増シカアルカ或ハ二割壹割トアル平均シテ貳割五分ノ増加テアリマス却テ肥料ノ如キ者モ減シ且種物ノ如キモ減シマシテ夫ニ貳割五歩ノ増殖ニナツテ居ル斯ウ云フ實例カアル併ナカラ或ハ御疑ヒカアルカ知ラヌ長野縣ハ地味カ違フ氣候カ違フ作付反別ノ相違カラフト云フ事アアリマセウカ統計表ヲ作リマシタカ同二十八年長野縣ノ米作反別ハ六万七千貳百九十三町收穫米カ百十六万七千貳百六石岡山縣ハ作付反別全二十八年ハ八万八千八百九十四町歩收穫米カ百十八万七百四十石是ヲ壹反歩ニ平均スレハ長野縣ハ貳石六斗六升八合岡山縣ハ貳石四斗四升一合七勺ト云フ勘定ニナル地味ノ方カラ云ヘハ岡山縣ノ方優レテ居ルト考ヘマス其証據ハ地價ヲ以テ見マスレハ長野縣ハ田地壹反歩三十七圓四十四錢岡山縣ハ四十八圓七十錢トアル地價ハ地租掛員ノ目テヤツタカラ確實テナヒ或ハ統計モ統計報告テ議論アルカ如ク不確實カ知ラヌ併シナカラ今日ハ統計テ勘定スルヨリ外ハナイカラ是ハ暫ク信スルト斯ノ如ク收穫高カ彼

ハ貳石六斗我ハ貳石四斗壹反歩テ貳斗ノ差カアル是ヲ以テ見レハ幾分カ改良ヲ施セハ米ヲ増スコトハ疑ヒナイコト、思ヒマス尙將來ハ諸君方實驗モアリマセフシ尙農事ノ進歩モアルカラ証據立マセフカ此事ハ疑ヒナヒト思ヒマス然ルニ其改良法ノ作ヲヤツテ面倒テアルカト云ヘハ爾ウ面倒テナヒト思ヒマス只種ヲ選フトカ苗ノ挿シ方田區ノ改良肥料ノ改良ニ止ツテ従前ノ手間ト異ナラヌト思ヒマス先ツ詰ラヌ勘定テアリマスカ試ニ我縣ノ米作上壹割ノ増殖ヲ見ルコト、シマスレハ壹ケ年壹百万圓ノ金高ハ取レル壹ケ年拾万石多ク取レルトスレハ壹石拾圓トシテ壹百万圓貳割ノ增收トスレハ貳百万圓僅カノ注意テ茶園業ニ優ツタ金ヲ得ルコトカ出來ル利益カアルノテアル斯ノ如キコトハ注意ニ依テ餘程冥々ノ裡ニ増殖ヲ見ルト云フコトハ疑ヒモナヒコトテアリマステ是等ノ事ハ充分勉メタヒト考ヘテ居リマス是ハ只米ノ一例ヲ云ツタノミテ其他麥ニ就キマシテモ麥ハ我縣下ニ幾ラ取レルカ壹ケ年六十万石壹石五圓ノ相場トシテ三百万圓壹割増トスレハ三十万圓ノ増額カ出來ル勘定テアル其他大豆、粟、藍、麻、茶、烟草ナリ或ハ畜産業ナリ聊カ改良ヲ施ス点モ御座リマスナラハ此農産物ニ就キマシテ百万圓ヤ百五十万圓ヲ増スコトハ苦モナク得ラル、コトカ出來ルト

考へマス先日モ三十番カ徳島ニ往ツテ調査ノアツタ藍ノ報道カアツタカ是ヲ以テモ我縣内ニ農産物ニ就テ改良ヲ施ス餘地カアルコトハ澤山アルコトハ疑ヒナヒ特ニ本縣ノ煙草ノ如キハ先日モ岡田君ノ報道カアリ烟草ニ就キ議論アルカ如ク各府縣ニ對シテ本縣ノハ下等品ニ在ルト云フコトアル是等ノ如キハ尤モ改良ヲ施セハ利益ナ上ケルコトハ著シキコトテ實ニ斯ク農事ノ進マヌハ惜ミ悲ムコトアルカ併シ亦一方カラ考フレハ改良ヲ熱心ニ行へハ是迄斯ク進ンテ居ラヌカ樂カアル改良ニ改良ノ仕甲斐カアルヨウテアル是ハ樂ノアル仕事テアル改良ノ点ニ就テハ隨分奮發スヘキ秋テアラウト考へマス就キマシテ此改良獎勵ノ方法ハ如何シテ宜ロカ先ツ是等ノ事ニ就テ當局者ニ於テモ或ハ民間有志者ニ於キマシテモ決シテ注意セヌテナヒ却テ是迄着手シテ居ル先キニ云フカ如ク農事講習所農會其他共進會品評會種々様々名カアツテ居リマス尙進ンテ往キタヒハ農事講習所ヲ生徒ヲ養成シテ而シテ實地ノ農業ヲ發達スヘキコトカ確カトシナケレハナラヌ先ツ農事ヲスル上テモ多少智識カナケレハ只舊來カラノ仕來リヲ襲ヒ來テハ到底改良カ出來ヌカラシテ到底農業者ニモ夫々學問ノ頭ヲ仕立テルコトカ必要テ差當リ農學校講習所ヲ立テ生徒ヲ養成スルコト

カ至極宜シロカ是カラ先キニ農事講習所ノ働ハ只生徒ヲ造ルハカリテナク農事講習所ハ一歩進ミツ、實地ノ講習ヲナスコト云フコト迄往カナケレハナラヌ是モ今日ヤツテ居ラヌテナ  
 〇農事講習所教員ハ隙ヲ以テ皆各地ニ出テ講話ヲシテ居リマス尙是ニ就テ考ヘル所カ此  
 簡易農事講習所トモ云フヘキモノヲ各地方ニ設ケテ是ハ至ツテ簡易ノ方法ヲ臨時ニ一ヶ月ナリ二ヶ月ナリ各地ノ小學校テモ寺テモ神社テモ何所ナリ便宜ヲ所ニ其地方ノ農業家ヲ集メテ農業ノ傍ラ夜間ニナリ其所テ一ヶ月若クハ二ヶ月ノ講習ヲスルト云フヤウナ方法テモ開キマスレハ廣ク改良カ行ハレハセヌカ農事講習所ノ生徒カ卒業シテトウナルカト云へハ強ク農事講習所ノミナ云フノテナイカ一般ノ學校ヲ云フカ……目的ヲ達スル生徒ハ半分ニ達シナヒ學校ヲ卒業スルト官吏ニナルカ人ニ備ハル、カ或ハ半途テ目的ヲ變ヘテ他ノ道ニ立カ必ス最初カラ目的ヲ定メテ農業ヲ働トカ兎ニ角自分カ郷里ニ歸ツテ糞桶ヲ擔カヌ偶々備ハレテモ人ノ力ニナラヌ自分ノ力ニ働クモ中々昔ノ老爺信用セヌト云フヨウナモノテアリマスア十人カ十人悉ク其目的通り往カヌ或ハ是ハ亦迂ナリト云フ者カアリマス農事講習所ノ仕事ハ至ツテ簡易ヲ輕易ヲ仕事テアリマスカ學問計リテナヒ實地カ主テアリマスカ

地方ニ依レハ或ハ仕事カ高尚テアラウト云フテ是迄ノ農民ノ頭ニ感セメト云フ者カ随分アル一步進ムテハ農事講習所ノ仕事テハ往カメ凡テ三四年ノ課程ヲ履シタ農學校ノ學科ヲ履ヌト相當ノ農業カ出來ヌト云フ地方モアリマシヨウカ是ハ何レヲ取り何レヲ捨ルト云フ事カアリマセウカ農事ノ改良ヲ圖ルハ高尚ヲ學問チスルモ宜ヒカ亦簡易ノ農事講習所テ立派ナ高尚ノ事テナク一ヶ月二ヶ月簡易ニヤルモ要ハ平易テ昔ノ老人モ分リ今日聽タ事ハ明日自分ノ畑ニ施ス事カ出來ルト云フヨウナコトニナツタナラハ幾分カ效能カアリハセメカト考ヘテ居リマス未タ何人ニモ是ハ相談シタ譯テアリマセメ夫カラ或ハ亦農事講習所ト云フモノチ各地ニ設ケテ是ハ過日來ノ諮問ニアルカ如ク諸君カ答申ニナツテ居ル農事試驗場チ各地ニ置ク農會テ設置スルト云フコトカ必要テアルト云フ御答テアリマシタカ是ハ勿論私モ必要ト思ヒマスカ農事試驗場ト云フ者チ何レモヤツテ居ル今日ハ試驗モ出來テ居ルカ試驗ヨリ摸範ト云フカ宜シヒ先ツ高尚チ事ハ茲ニ農事講習所ハ随分試驗テ經驗チ積ンテ居ルカ取調ヘハ土質トカ氣候ノ爲メニトウト云フ何人ニモ出來ヌ試驗ハ必要カアラフカ米作ノ如キハ普通一般ニヤツテ居ルカ摸範ト云フカ宜シヒ名ハ何ト云フモ宜ヒカ各地ニ摸範田チ拵

ヘル事カ必要ト思ヒマス兎角昔ノ仕事ニ固執シタ老人ハ新規チ事ハトウモ分ラヌ容易ニ了解セヌ故ニ各地各村部落ニ摸範田チ拵ヘテ彼等ノ分ト列ヘテ作ツテ米ノ出來バヘチ見セル現ニ此ノ如クテアルト云フコトチ見セマス爾ウ云フ風ニ作ツテ見セルモ改良ノ一チナヒカト思ヒ升是ハ改良ノ要点チ申シマシタ其次ニハ養蠶ノ事チ申シタト思ヒ升カ此養蠶業ニ取りマシテハ先刻カラモ随分必要ナル御議論モアリマシタカ私ノ考ヘモ養蠶業ハ縣下ニ於テモ年々發達ノ勢カアリ亦縣下ノ北部地方ハ將來最モ望アル仕事ト考ヘマス是ハ充分養蠶業ハ獎勵シタヒ考ヘテアリマス御承知ノ如ク養蠶地トナルト何レノ地方モ土地カ何レモ富チナシテ居ル關東地方テ云ヘハ群馬ナリ或ハ福島ナリ長野ナリ養蠶地ト云フト何レモ土地チ富シテ居ル併シ養蠶業ト雖トモ十露盤ニ把レハ反ツテ普通ノ農作物ヨリ惡ヒト云フ十露盤カ出ルカ養蠶カ可イハ畢竟人ノ手間チ要セメカラ夫レ故可イノテ他ノ業テアルト雨カ降ル或ハ雪カ降ル夜分ニナレハ無論業チ休ム養蠶業ハ敵手カ生キテ居ルカラ油斷ナラヌ雨カ降ラフカ何カ降ラフカ夜分ニナルモ起キテヤル其時間ノ勘定カラ云ヘハ無論養蠶業ニ利益チ夫レ丈ノ利益チ受ケル一家内テモ普通農事ハ五人居レハ貳分ノ一ハ働カヌ養蠶業ニチ

ルト子供ハ子供丈老人ハ老人丈ケノ働キナナス病人モ外ニ出ナケレハ何所ノ家テモ家ノ内  
 テ仕事ナスルト云フヨウナコトテ養蠶業ハ十露盤ニ適ハヌカ利益カアル夫故養蠶地ハ悉ク  
 富ナシテ居ルト思ヒマス是ニ就キマシテ考ヘマスル所ハ此副産業テス副藝ト申シマスカ農  
 家テモ特ニ漁業家テハ副藝ト云フモノヲ設ケテ置クコトカ大切ト思ヒマス先キニ云フカ如  
 シ農業家ト云フモノハ雨カ降ルト其日ハ休ム夜ハ徒ニ世間話テ終ルト云フコトカアリマス  
 テ爾ウ云フヤウナ風ノ手間ヲ無駄ニセヌト云フコトハ副藝カアルト間隙ニハ其仕事ナスル  
 普通農業家ニ於キマシテモ養蠶業ノ如キ夜半缺ヲ採ツテ耕カヤスト宜シヒカ夫レカ往カヌ  
 カ副藝カアツテ相當ニ従事スルコトテアレハ必ス細民ノ糊口ト云フモノハ餘程助ケニナル  
 ト思ヒマス本縣ニ麥稈業カアリマス麥稈業ハ元ト副藝カラ起ツテ今日ハ殆ト主産業トナツ  
 テ居リマスカ是等ノ如キカ人ノ手間ヲ遊ハセヌ無駄ニ人ナシテ居ラセヌアレカ爲メニ縣下  
 ノ細民カ喜ヒテ居ル此業ハ他ノ業カ百万圓利益カアルト百五十萬圓ノ利益ニナルト思ヒマ  
 ス何セト云ヘハ他ノ業テアレハ當然ナスヘキ業ヲ休ンテ居ル其利益カ利益丈シカニナラヌ  
 カ麥稈業ハ常ニ遊ンテ居ルモノカ是ニ従事スル者カ多ク例ヘハ學校ニ往ク子供テ朝夕相當

ニ働キナスルカラ夫レ丈顯レテ利益ヲ得ルト云フ勘定テアリマス斯フ云フ仕事ト云フモノ  
 ハ何レノ地方ニモ何か土地ニ適當ノ業ヲ設ケテ置クト云フコトハ必要ナ事ト考ヘマス少シモ  
 自立チハシマセヌカ其自立メ間ニ大ナル利益カアルト思ヒマス實ニ此時間ハ寶ナリト申シ  
 マスカ人ノ手間ト云フモノハ大切ヲモノテ誠ニ馬鹿氣々話テアリマスカ一寸徒ニ勘定スレ  
 ハ我縣ノ人口百万人其中ニ貳分ノ一五十万人ト見テ其半分ハ働ク五十万人一日廉クテ三拾  
 錢勞動時間ヲ十時間トシ一時間多ク働クト一時間三錢五十万人一日ニ壹万五千圓一ケ年五  
 百四十七萬圓ト云フ勘定ニナル一時ノ戯ニ過キヌカ若シ縣下ノ人々カ一日ニ一時間多ク稼  
 クトスレハ子供ヤ何ヤ稼クトシテモ非常ナモノテアル時間ノ大切ナルコトハ勸業家テ忘ル  
 ヘカラサルコト、考ヘマス先キニ此養蠶業ノ事ヲ申シマシタカ是モ先刻云フカ如ク私カ前  
 任地ノ長野縣ハ養蠶カ盛ンテ養蠶計リテナヒ製糸モ隨分盛ニスル此利スル所カ壹ケ年都合  
 千三百万圓ト云フ金高ニナツテ居ル二十八年頃ハ輸出高ハ少ナヒ製糸ノ高四十萬貫ト云フ  
 ノテアリマシタカラ先ツ殆ト千六七百万圓ノ金高テアル先ツ縣下ノ米作ヨリカ遙ニ超ヘテ  
 居ル然ルニ米作モ先刻云フカ如ク米モ餘計作ルト云フ勘定……土地柄テアル夫レ故ニ此長

野縣ト云フ所ハ非常ニ土地ハ富シテ居ル所テアツテ全國ノ中ニ平均シテ何レノ地方カ富シテ居ルカト云ヘハ誰シモ長野縣ヲ第一ニ算フルノテアリマス斯ク云ヘハ長野縣ハ便利地味モ宜ヒト云フ方カアリマセウカ實地能ク知ツテ居ルカ交通不便テ地味モ瘠セテ居ル全國中テアノ位不便利ナ所ハ他ニナヒ地勢ハ最モ高ク冬ハ寒ク隨分土地ハ宜シクナヒ所テアル夫カ斯クノ如ク富シテ居ルハ全ク人ノ勉強丹精ニ在ルカト考ヘマス先刻云ツタ製糸ノ如キハ長野縣中壹番多ヒハ訪諏那訪諏ト云フ所ニ全縣下ノ四分ノ一ハ此所テ糸ハ出來ル然ルニ訪諏ハトウカト云ヘハ何レニ至ルモ一二ノ山脈ヲ越サナケレハナラヌ夫レニ繭カ出來ルカ八分通り群馬埼玉地方カラ持テ來ル薪炭モ他カラ持テ來チハ伐リ盡シテ居テナヒアノ様ニ製糸業カ盛ニナツタハ今日ノ如ク盛ニナツタハ不思議テアル製糸ハ水質ニモ依ルカ水利モ天龍川ヲ利用シテ居ルカ多クハ蒸氣力テヤツテ居ル原料モ高シ原料品ノ輸入モ困難生産品ノ輸出モ不便テアリナカラ斯ク盛ニヤツテ居ルハ人ノ勉強力ノ外他ニ道ハナヒ物ハ何事モ勉強ニヨツテナラヌモノハナヒト私ハ考ヘマス依テ我縣下ニハ大ニ奮發シナケレハナラヌモノト只管考ヘル次第テアリマス山林ニ就キマシテハ幸ヒニ本縣ニハ他ノ地方ニ率先シテ

制度ヲ具ヘテ居ル是モ畢竟諸君方ノ御心配カラ今日出來テ居ル今日整ツテ居ルト云フモノハコレハ治水上保安林ニ關スルコトノ制度テアリマシテ未タ經濟的ニ山林ノ効ト云フコトニ就テハ先ツ少シモ手ハ着テ居ラヌト思フテ居ル是カラ一步進ンテ經濟的ニ山林ノ計畫ヲ圖ラナケレハナラヌ時勢ト私ハ考ヘルノテアル是ハ私カ云フマテモナク治水上水源涵養衛生上其他風致杯ト云ヒ是ハ國家的感念ヲ以テ充分此事ニハ盡サナケレハナラヌコトト思ヒマス此山林ノ保護ノ達スル曉ニハ直接ハ云フニ及ハス間接ノ利益ハ澤山アル先ツ水害ノ防禦ハ勿論或ハ早リ年テモ早魁ヲ感スル事ナク其他海岸ハ魚寄ニ利益カアルトカ隨分森林保護ハ利益カ少ナクナヒト考ヘマス御承知テモアリ分リ切ツタ事テアリマスカ先般私カ郡長ヲ招キマシタ時ニ山林獎勵ノ種トシテ郡長ニ示シマシタ時ニ統計表ヲ拵ヘマシタテアリマスカ山林ノ利益ハ馬鹿氣タ利益カ實ニアル此本縣ニハ此樹ノ生ヘテ居ラヌ則柴草山カ十五万六千町歩アル是カ何ヲシテ居ルカト云ヘハ牧畜肥料等ニ用ヒテ居ルカ是ハ壹町歩壹ケ年七圓五拾錢ノ收益シカナヒ若シ山林ニ仕立ルト云フト百年ノ後ト云フト大層長ヒカ其樹木カ生育シテ是ヲ百年ノ後ニスルト壹ケ年ノ利益貳百六拾八万圓ニナル併シ柴

草モ最初カラ收益ノアツタモノニ利ニ利ヲ加ヘルト相當利ヲ生スルカ山林ノ利益ニハ到底及ハヌ今全縣下テ柴草ノアル十五万六千町歩ニ雜木ヲ除ヒテ櫟ノ如キ樹木ヲ植ヘテ百年ノ仕事トスルト百年ノ後ニ至テハ一年ニ既往ニ遡ツテ一ヶ年四千百九拾万圓ノ利ヲ得ラレル現今ノ柴草ニ比シテ遙ニ利ヲ得ルコトニナル山林ニナルト直接ハ勿論間接ノ利モ非常デアル併シナカラ十五万町歩ヲ悉ク樹テ仕立ルコトハ出來マスモ或ハ牧畜用其他肥料用ニ充ツルニ柴草モ必要デアルカラ三分ノ一ハ除クトシテモ其餘ノ三分ノ二ニ植樹スルコトニナルト壹ヶ年貳千七百九十六万圓ト云フ利益ニナルト云フ勘定ニナル若シ現在ノ民林凡テノ民林ヲ舉クルト三十貳万町歩ニナル三十貳万町歩カ此計算テ悉ク利益カアルトスレハ壹ヶ年八千六百九十五万六千圓ト云フ利益ニナル是ハ壹ヶ年夫カラ先キ八年々何カ出テ來ヤツカ縣下ノ有ラユル物産ヲ舉クルモ爾ウ云フ勘定ニナラヌ馬鹿氣ヲ十露盤デアルカ十露盤ニスレハ爾ウ云フ十露盤ニナル併シ何事モ十露盤通りニ往カヌト云フ事カアルカラ此通り往キマスモヒカ詰リ山林モ是迄成シアル實蹟ニ就テ勘定シナケレハナラヌカ過日奈良ニ往ツタ委員ノ調査ニ就テモ奈良縣カ現ニ其時ニ拾貳万町歩アツテ壹年ニ得ル處ノ金カ壹町歩十

六圓六十錢是カ只年々ノ收入デアアルノデアアル是ヲ我縣ノ民林三十貳万三千餘町歩ニ此割合テ勘定シテ見マスレハ凡ソ八百万圓位ノ收入カ壹ヶ年ニアル勘定ニナリマス成程奈良縣ト本縣トハ幾分カ地味ニハ等差カアツテ奈良縣ノ様ニ立派ニヤルハ容易ニ往カヌカ知ラヌカ八百万圓ハ半分テモ四百万圓實ニ山林ノ事ハ忽ニスヘカラサルモノト考ヘマス只仕事ノ困難カアルハ年數ヲ經ル事アル百年ノ後テナケレハ利益カ上ラヌ夫レナラハ五十年ノ後モアル五十年ノ後ハ夫レ丈ケ收入ハ百年ノ後ノ如クナラヌトウシテモ百年ノ爲メニ仕事カ進マヌト往ケヌト思ヒマス是ハ國家ノ爲メニ我々カ子孫ノ爲メニ是丈ケノ義務ヲ果シテ置クハ當然ノ務メト思ヒマス決シテ放擲シテ措レヌ困難ノ仕事カト云ヘハ決シテ然テナヒ僅ノ費用ヲ掛レハ出來ル而シテ其費用ハ十年以内テ償フ間接ノ利益ハ三年經過スレハ其利益ヲ得ルコトデアアル此事ハ先刻云フカ如ク實ニ我岡山縣ニ於テハ山林事業ハ大切デアアルカラ岡山縣ノ國是トシテ將來務メタヒ考ヘテ有シテ居ルトウカ御同感ニアレハ此事ニ就テハ諸君ニ於テモ將來御盡力アラシテ偏ニ望ム次第デアリマス水産業ニ就テ一寸申シ升カ是ハ此近年ノ間ニ於キマシテハ別ニ格別改良ノ点カ實効ヲ奏シタトカ或ハ盛衰カトウナツテ居ル

ト云フコトハ統計上著シキ成績ヲ見マセンテアリマスカ是モ本縣ニ於キマシテハ廣ビ沿岸  
 ナ扣ヘテ居ルモノテアリマシテ充分將來ニ於テハ獎勵スヘキ事業カト考ヘマス先ツ沿岸ニ  
 住居シテ居ル人ハ全ク漁業ヲ以テ生活シテ居ル此沿岸計リテナク朝鮮海ナリ何所ナリ遠洋  
 業ノ事ハ追々是カラ進メテ往カナケレハナラヌ夫レニシテモ政府モ見ル所カアツテ補助ノ  
 方法モ出來テ居ルカ是ハ夫々制限アツテ一寸本縣カ恩澤ニ與カルコカ出來マセヌカ地方ハ  
 地方ノ仕事トシテ追々地方ノ支出ヲ増シテ是等ニハ相當ニ補助ヲナスコトカ必要ト考ヘマ  
 ス夫故先ツ姑息ナカラ今度諮問ニ掛ケマシテ水産業ノ獎勵ノ教師聘傭ノ事モ一寸問題ニ出  
 シテ見タ様ナ譯テアリマス先刻モ云フカ如ク漁業者ニ取りテハ漁業即チ水産業ニ就テ獎勵  
 ナ加ヘルコトカ極メテ大切ト思ヒマスカ漁業者ト農業者ト比較スレハ漁業者ハ其收穫ノ多  
 額ナルニ拘ハラヌ農業者ニ及ハヌト云フ点カアル何セカト云ヘハ漁業者ハ定ツタル仕事ア  
 ナク利益ヲ得ルトキハ澤山アケルカ平日ハ遊ンテ居ルノミナラス利益カアツタトキハ浪費  
 スルコトカアルカラ爾ウ云フ勘定ニナルト思ヒマス夫故漁業者ニ對シテ何か貯蓄ノ方法ヲ  
 設ケテ利益カアルトキハ相當ニ貯蓄ヲナシ利益ノナイトキニ是ヲ償フ道カ大切ト思ヒマス

一方ニハ何か副業ヲ設ケテ彼等ハ稼クトキハ晝夜ヲ別タスシテ稼クカ稼ケヌトキハ壹ヶ月  
 貳ヶ月徒手シテ居ルカラ夫等ノ場合ハ何か爲ス夫々網ノ修繕ヲスルトカ網ヲ捲ラヘルトカ  
 何トカスルカ夫レノミナラス他ニ手藝ヲ教ヘテ置ク事カ大切ト思ヒ升是ハ追々考ヘテ付ケ  
 テ見ヨウト思ヒ升カ當局者カラ兎ニ角如何ニ獎勵シヨウト思ツテモ當業者カ其心カナヒト  
 行ハレヌト考升工業ニ就キマシテハ縣下ニ於テハ隨分他ノ地方ニ擢ンテ、事業ハ進ンテ居  
 リ升カ是ハ敢テ縣廳カ獎勵シタ譯テアリマセヌカ自然ノ發達テアリマス是ハ所謂株主ノ助  
 ケタ事實モアルト思ヒマスカ工業カ縣下ニ發達シタハ縣下ノ爲メニ喜フヘキコト思ヒマス  
 是ニ向ツテモ相當當局者ハ勿論是ノ勸業諮問會ノ團體ニ於テモ將來ノ維持若クハ進歩ノ事  
 等ヲ講究シナケレハナラヌコトト思ヒマスカ先其工業中ニモ紡績トカ或ハ製糸トカ云フ様  
 ナモノハ別ニ他動ノ獎勵ニ依ツテ左右シ得ヘキモノテアリマセヌカ生糸、花筵、麥稈、疊表、  
 小倉眞田、紙、陶器、素麵或ハ木綿織等ハ將來其必要ニ應シテ夫々誘導獎勵ノ方法ヲ講シナ  
 ケレハナラヌ事ト考ヘマス追々是等ノ事ハ私ニ於テモ夫々考案ヲ下シテ尙御相談スルコト  
 モ御座ヒマセウカ何卒右申マシタ事等ニ就テ御意見ノアル事テ御座ヒマスレハ御遠慮ナク



何カ御忠告ヲ仰カンコトヲ偏ニ望ム次第デアリマス終リニ申述ヘタヒコトハ御承知ノ通農  
 工銀行ト云フモノハ設立サレマシタデアリマス是ニ向ツテハ取モ直サス勸業上ノコトニ就  
 テ其資金ヲ供給スルコト、考ヘマス地方ニ於テ段々事業モ進歩スルト考ヘマスカコレハ則  
 チ法律ニアルカ如ク町村トカ若クハ法律ヲ以テ団体ヲ組織シタルモノハ無抵當テ其資本ヲ  
 引出スコトカ出來ルモノテ隨分其資本ノ爲メニ事業モ進ムト思ヒマスカ是等ノ事業ヲ爲ス  
 ニ就テモ或ハ資本ヲ貸……借リ受ケルニ付テモ地方ニ於テ一致協力カ實ニ必要ト思ヒマス  
 是モ私カ云フ迄モナク御承知ノ事デアリマスカ此一致協合力カカナケレハ到底何事モ出來  
 ヲト思ヒマス先キニ云フカ如ク長野縣カ製糸業ノ斯ク發達ナシ全國ニ冠タル勢力ヲ有シ  
 テ居ルト云フモノカ畢竟一致協同ノ力デアレ丈ケノ強固ノ事ヲナシテ居ルト私ハ認マシタ  
 ノデアリマス隨分糸ト云フモノハ外商トノ取引ノ間ニ相場ノ高低ノアルモノテ餘程不振ニ  
 ナルトキニハ困難ノ事業デアリマシテ既ニ昨年ノ如キハ非常ニ不景氣デアツテ長野ノ製糸  
 家ハ殆ト困難ヲ極メタコトカアツタノデアリマス併シ夫レニモ拘ハラズ其不振ノ間ニ製糸  
 業カ何レ丈ケ業ヲ休ンタカト云ヘハ一割五歩シカ製シ方ヲ減セメノデアリマス糸ハ賣レテ

居ラヌ餘程耐忍シテ居ル其耐忍ノ結果終ニ今日ハ餘程販路が開ケテ來テ昨今ノ所ハ八百五  
 十弗ノ相場ナシテ居ル不振ノ時或ハ六百五十弗一時ハ捨テ賣リナシタト云フモノモアル  
 長野ハ夫レ等ノ境遇ニ陥ラスシテヤツタハ團結ノ力デアアル爾ウ云フ團結ノ力カアルカラア  
 ノ地方カ立テ居ルト思ヒマス先日カラ議論アリシカ如ク花莖業ノ問題デアアル花莖業ハ一割  
 五分ヤ貳割三割ノ減シテナイ一時ハ貳百万圓マテモ達シタモノカ昨今ノ所ニテハ漸ク五十  
 万カ六十万ノ有様デアアル爾ウ云フ困難デアアル當業者ハ休業ノ姿デアアル是ハ亞米利加ノ關稅  
 問題ノ關係モアルカ是ハ團結力カナヒ氣力カナイト思ヒマス當業者ニ對シテハ氣ノ毒デア  
 ルカ一致共同ハ何事ニモ必要デアル一ノ事業ヲスルニ一ノ團體ノ力ヲ堅固ニシナケレハナ  
 ラメカ農工銀行ニ資本ヲ仰テヤルカ資本ヲ仰クニモ事業ヲ強固ニスルニモ彌々強固ニ一致  
 共同シテナシナケレハナラス是等ノ件ヲモ考ヘテ居リマスルカ地方ニ於テハ諸君ノ力ヲ藉ラ  
 ナケレハナラヌ餘リ長ヒテ御話シハ止メルカ今日ハ尙時間カアリマステ幸ヒニ御意見アレ  
 ハ承ル事ニシマス

四十三番(秋山宗三郎)日私ハ昨日ノ花莖業ノ答申ニ追申シタヒト思ヒマスカ昨日ハ雨モ降

ツタシ皆サンモ簡單々々ト云フユトアアリマシタカラ述ヘル事モ得述ヘル事ヲセヌテアリ  
 マシタ是ハ花菴ニ必要テアルカラ縣知事閣下ニ向ツテ御忠告ヲ致シテ置キタヒノテアリマ  
 ス夫レハ外ノ事ヲナロ彼ノ蘭作ノ事テアル花菴衰頽ニ就テハ或ハ蘭ヲ拔採ツテ置クト云フ  
 ヨウナ場合ニ今日立到テ居ルヨウナ場合テ此蘭ノ利益ト云フモノモ中々縣下ニ容易ナラヌ  
 利益カアルカ其利益ノアルニ拘ラス今日花菴ノ不振ヨリ延ヒテ蘭苗ヲ拔採リナシテ居ル場  
 合テアリマスカ早晚終ニ花菴モ挽回スル其時此蘭カナイト大ニ憂フヘキコトアル一寸蘭  
 草ノ事ヲ申テ置キマシヨウカ二十五年ニ蘭ノ植付ナシテ居ツタ反別ハ五百壹町壹反歩テ其  
 收穫カ三十万六千六百六十斤ト云フ斤數ヲ得テ居ル其二十五年花菴ヲ製造シタノヲ見レハ六万  
 六千五百本夫レニ使用シテ居ルカ十九万九千五百斤餘ヌ所十万千六百六十斤カ他ニ賣テ居ル  
 蘭草ノ代カ壹圓トシテ今日ハ漸ク七八十錢ノ場合テアルカ壹圓トシテモ拾万幾ラノ場合テ  
 アル夫レカ二十七年ニ至ルト作付反別ハ千三百四十三町九反歩其收穫ハ八十万六千九百四  
 十斤斤數カ得ラレテ居ル此年ニ花菴ニ費シタノヲ調フレハ貳十五万六千四百斤テアツテ廣  
 島、高知、愛媛縣高知縣等ニ出シテ居ル斤數ハ五十五万八百三十六斤テアル其代價ハ壹圓

トシテ五千五百餘圓ト云フ利益ニナツテ居ル斯クノ如クテアルニ夫カ今日花菴業ノ不景氣  
 ニ就テ廉ヒ廉ヒカラシテ前途目的カナヒト云フ感カラシテ今日ハ蘭草ノ苗ヲ拔盡シテ往ク  
 ト云フ境遇テアル誠ニ是等ノ事ハ前途目的カナヒモノテナロ只目下ノ場合カラシテ斯ク云  
 フヨウナ場合ニ至テ居ルノテアルカラ縣廳ニ於テモ斯云フヨウナ事ハ勸業上必要ナ事ト  
 思ヒマスカラ何カ是等ニ就テ少シク獎勵ノ方法ヲ御執リニナツタラハトウカト思ヒマス  
 最ツト精シキ事ヲ調ヘテ居リマスカ時間ノ妨ケヲスルカラ是丈ケナ一言述ヘテ置キマス  
 會頭(高崎知事)曰 別ニ御話モアリマセンテアリマスレハ是テ閉會ニシマス夫レテハ今日  
 ハ是テ閉場ニシマススヘテ是テ閉會ヲ告ケマスル數日ノ間誠ニ御苦勞テ御坐ヒマシタ

1/37

明治三十一年二月二十五日印刷  
明治三十一年二月二十七日發行

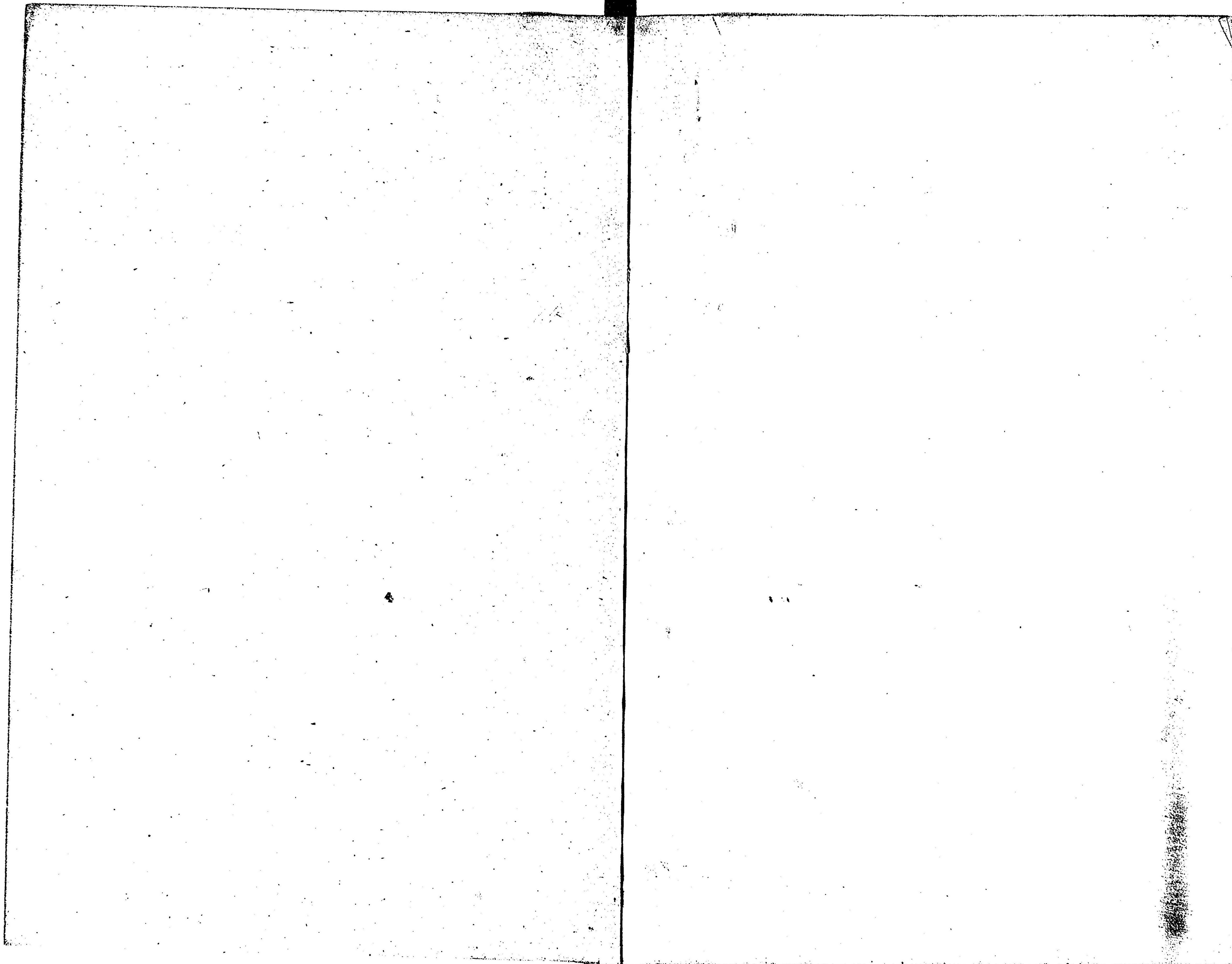
岡山縣

印刷人

岡山縣平民

小坂清作

岡山縣備前國岡山市大字  
榮町八番邸寄留



141

36

